

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)01農業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 22 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-01-02
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	耕作放棄地再生利活用対策事業	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712	

事務事業の概要	対象	市内に所在する耕作放棄地(農業振興地域内農用地に限る)の解消する事業主		
	目的	耕作放棄地面積の減少および作物収量の向上		
	内容	耕作放棄地再生活動を計画する事業体に対し、10aあたりの単価を設定し交付金の補助をおこないました。補助金の単価として、 ●耕作放棄地を解消し、菜種の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50000円 ●耕作放棄地を解消し、有機農業による作物の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50000円 ●上記以外で耕作放棄地を再生する農地・・・10aあたり30000円 の3タイプを挙げています。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	交付金	159,000円	耕作放棄地再生事業補助金	
	計	159,000円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	300	159	300	
	合計(A)	0	300	159	300	
人件費	正規職員	業務量	0.02 人	人	0.02 人	0.02 人
		人件費	151	0	154	154
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	151	0	154	154	
合計(A+B)	151	300	313	454		
市民1人当たりのコスト(円)		2	4	4	6	

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付金活用 農地面積	耕作放棄地の活用のため、取組、農地として活用可能となる農地面積	10a	目標		3	1	3
			実績	0.5	0	5	
指標化できない成果			達成		0.0%	500.0%	

方向	継続	課題及び改善案	引き続き耕作放棄地を再生していく事業に対し補助をすることで、市内の農地有効活用化を目指していく。尚、地域の方への告知を強化していくことで、事業予算を十分活用していく努力をする。
----	----	---------	--

整理番号 249 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業	決算書頁 243
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-03-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	農業経営基盤強化促進事業			評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	農業者の経営改善の推進		
	目的	農業経営改善計画の審査を行い担い手を育成する。		
	内容	農業経営改善計画40件、青年等就農計画8件の認定審査を行いました。 認定農業者に対し、経営改善計画の進捗状況の聞き取りなどフォローアップを行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	168,000円	農業経営基盤強化促進協議会委員報酬	
	報償費	54,440円	認定農業者研修会講演報酬	
	旅費	29,822円	旅費	
	計	252,262円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	221	305	252	313	
		合計(A)	221	305	252	313	
人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,876	1,919	1,919	1,923	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,876	1,919	1,919	1,923		
	合計(A+B)	2,097	2,224	2,171	2,236		
	市民1人当たりのコスト(円)	23	25	24	25		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標		230	240
	認定農業者数	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に合致する農業経営体数	人	実績 222	230	230	
	指標化できない成果		達成		100.0%	95.8%	

方向	継続	課題及び改善案 農業者の高齢化・後継者や担い手の不足・採算性の悪化等により、競争力のある産業として維持していくのが困難になってきている。安全・安心な食料の安定供給をはじめ、多様な価値を提供する農業・農村の役割に鑑み、農業・農村の健全かつ持続的な展開を図るため、担い手の育成とフォローアップに努めていく必要がある。
----	----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 24 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-03-02
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	人・農地プラン作成事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	集落、地域、農業者		
	目的	持続可能な農業を実現するため、地域の中心となる経営体を確保し、農地集積を進める。		
	内容	<p>集落、地域での話し合いにより、地域の中心となる経営体への農地集積など、地域農業のあり方を記載した「人・農地プラン」の作成等、必要な支援を行いました。</p> <p>6月に各支所単位で説明会を実施し、その後要望のあった地区を対象に、事業説明会を開催しました。</p> <p>結果、新規に3プランが作成され、既設プランについても10プラン(延べ11プラン)の見直しがありました。</p>		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		報酬 旅費 消耗品費 研修会参加費 委託料	204,000円 27,121円 75,724円 33,500円 1,600円	委員報酬 委員旅費 消耗品費(事務用品等) データCD作成業務
	計		341,945円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
事業費	直接事業費	国県支出金	167	167	280	430	農用地利用集積特別対策事業費補助金 279,500円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	167	167	62	0		
		合計(A)	334	334	342	430		
	人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人		人
			人件費	3,751	3,837	3,837		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
		小計(B)	3,751	3,837	3,837	0		
合計(A+B)	4,085	4,171	4,179	430				
市民1人当たりのコスト(円)			45	46	46	5		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	中心となる経営体の数	「人・農地プラン」に位置づけられた経営体数	体	目標		140	150	210
				実績	131	144	200	
指標化できない成果			達成		102.9%	133.3%		

方向	継続	課題及び改善案	地域を中心とする経営体への農地の集積や、就農移住を含めた新規就農者の確保のため、継続する必要がある。
			人農地プランの策定地区の増加のため、地域での説明会を積極的に実施する。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業	決算書頁
251 -		243

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 24 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-03-03
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	新規就農者総合支援事業		評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	独立・自営就農時の年齢が原則45歳未満で、人・農地プランで中心経営体と謳われている新規就農者		
	目的	高齢化や後継者不足などの「人と農地の問題」の解決を図る。		
	内容	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付しました。 平成31年度は、合計7名に資金の交付を行いました。(計7,125,000円)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	7,125,000円	農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)	
	計	7,125,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	3,750	4,500	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	3,750	4,500	7,125	11,250		
	人件費	正規職員	業務量 0.35 人	0.35 人	0.70 人	0.70 人	
		人件費	2,626	2,686	5,372	5,384	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,626	2,686	5,372	5,384	
		合計(A+B)	6,376	7,186	12,497	16,634	
		市民1人当たりのコスト(円)	69	79	137	184	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	農業次世代人材投資資金の給付件数	農業次世代人材投資資金を交付した対象者数	件	目標		4	5	6
				実績	4	3	6	
指標化できない成果			達成		75.0%	120.0%		

方向	継続	課題及び改善案	新規就農者が安定した営農を継続できるよう、事業の活用を積極的に進める。
----	----	---------	-------------------------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 27 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-03-04
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	農地集積協力金交付事業		産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	集落、地域、農業者																										
	目的	地域の中心経営体への農地集積や分散錯圃の解消を目的に、農地中間管理事業を促進する。																										
	内容	担い手への農地集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構を通じて農地を貸し付けた地域に対し協力金を交付しました。 (令和元年度実績:4地区 農地中間管理機構への貸付面積:約99.19ha)※経過措置面積含む 【地域集積協力金】 人・農地プランに基づき農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた場合、集積割合に応じて地域に対し交付する協力金 【経営転換協力金】 人・農地プランに基づき機構へ自作地を貸し付けた農業者等で、農業部門の減少により経営転換する農業者や、リタイアする農業者などに交付する協力金																										
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共済費</td> <td>231,655円</td> <td>事務補助員保険料</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>1,527,440円</td> <td>事務補助員賃金</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>9,919,000円</td> <td>地域集積協力金 9,919,000円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>20,000円</td> <td>視察先謝礼</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>105,920円</td> <td>視察研修</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>1,117,726円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>36,259円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,958,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	共済費	231,655円	事務補助員保険料	賃金	1,527,440円	事務補助員賃金	負担金、補助及び交付金	9,919,000円	地域集積協力金 9,919,000円	報償費	20,000円	視察先謝礼	旅費	105,920円	視察研修	消耗品費	1,117,726円		備品購入費	36,259円		計	12,958,000円	
経費	金額	摘要																										
共済費	231,655円	事務補助員保険料																										
賃金	1,527,440円	事務補助員賃金																										
負担金、補助及び交付金	9,919,000円	地域集積協力金 9,919,000円																										
報償費	20,000円	視察先謝礼																										
旅費	105,920円	視察研修																										
消耗品費	1,117,726円																											
備品購入費	36,259円																											
計	12,958,000円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 農用地利用集積特別対策事業費補助金 9,919,000円 中間管理事業業務委託金 3,039,000円	
		直接事業費	国県支出金	6,624	11,000	9,919		27,400
			地方債	0	0			
			その他	2,000	2,000	3,039		3,039
			一般財源	0	0			
		合計(A)	8,624	13,000	12,958	30,439		
	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人		人
			人件費	2,626	2,686	2,686		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
小計(B)		2,626	2,686	2,686	0			
合計(A+B)	11,250	15,686	15,644	30,439				
市民1人当たりのコスト(円)		122	172	171	337			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	農地集積面積	農地中間管理機構へ貸付された農地面積	ha	目標	100	120	120
				実績	41.2	118	85
指標化できない成果			達成	118.0%	70.8%		

方向	継続	課題及び改善案 地域の中心となる経営体への農地集積を進めるため、国の施策に基づき引き続き実施する必要がある。
----	----	---

整理番号 253 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)04農業経営基盤強化資金等利子助成事業	決算書頁 243
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-04-01
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	農業経営基盤強化資金等利子助成事業		評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0959-22-9712

事務事業の概要	対象	認定農業者		
	目的	農業経営改善計画を具体的に実践し経営規模の拡大及び経営の効率化を図る。		
	内容	認定農業者が借り入れた農業制度資金の借入利子の一部を助成しました。 農業経営基盤強化資金利子助成 0.115%～0.25% 農業経営近代化資金利子助成 0.5%以内		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		負担金、補助及び交付金	387,952円	農業経営基盤強化資金利子助成金
			954,189円	中核農業者育成資金利子助成金
		計	1,342,141円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	164	214	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,226	1,884	1,148	1,101		
	合計(A)	1,390	2,098	1,342	1,235		
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	751	768	768	770	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	751	768	768	770		
	合計(A+B)	2,141	2,866	2,110	2,005		
	市民1人当たりのコスト(円)	24	32	24	23		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	対象者適用比率(助成者/申請者)		申請者に対して利子補給できた率を指標とする	%	目標	100	100	100
					実績	100	100	100
	指標化できない成果		達成	100.0%	100.0%			

方向	継続	課題及び改善案	認定農業者の経営安定と効率化を図るため、引き続き実施する必要がある。
----	----	---------	------------------------------------

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)05鳥獣害防止事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-05-01
	基本事業	③ 有害鳥獣被害への対策	担当部署	部・課名等
	事務事業名	鳥獣害防止事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9714

事務事業の概要	対象	鳥獣害被害を被る農山村住民		
	目的	有害鳥獣の侵入を防止被害の防除、軽減による農業経営の安定化、住環境の向上を図る。		
	内容	<p>農山村の鳥獣害を防止するため、市内の農地所有者に対し、電気柵等の共同防止設備設置に必要な購入資材の一部を助成しました。</p> <p>伊賀市鳥獣害防止施設設置事業助成金:補助率 資材費×20%、上限30万円、下限1万円 伊賀市鳥獣害対策協議会として事業を実施する、ソフト・ハード事業に要する経費の一部を負担しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	獣害防止施設設置事業助成金	863,600円	助成件数 7件	
	伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金	7,659,434円	事業実施地域 ソフト事業20自治協 ハード事業16自治協	
	消耗品費	19,455円		
	計	8,542,489円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	国県支出金	0	0	0	255
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	9,877	11,237	8,542	11,580
		合計(A)	9,877	11,237	8,542	11,835
人件費	正規職員	業務量	1.05 人	1.05 人	1.05 人	1.05 人
		人件費	7,877	8,058	8,058	8,076
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	7,877	8,058	8,058	8,076	
合計(A+B)	17,754	19,295	16,600	19,911		
市民1人当たりのコスト(円)		193	211	182	220	

指標名	指標の説明	単位	目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
助成件数適用比率(助成件数/申請件数)	当助成件数を分母とし、助成の対象者の適用比率を指標とする	%	100	100	100	100	100
指標化できない成果		達成			100.0%	100.0%	

方向 継続
課題及び改善案
人口減少と少子高齢化による地域力低下のため、鳥獣被害は増大している。安全、安心なまちづくりと農業経営安定化のためにも住民の被害防止の取組みは継続していく必要がある。また、地元要望も多い。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)06伊賀米等生産振興対策事業	決算書頁
255 -		245

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-06-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当 部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	伊賀米生産振興経費		

事務事業の概要	対象	伊賀米生産農業者、関係事業者及び地域の消費者、経営所得安定対策対象農業者		
	目的	伊賀米の生産基盤保持や安全安心な体制構築、経営所得安定対策等や伊賀米普及事業を推進する		
	内容	<p>稲作栽培の技術向上及び米の品質向上を図り、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努めました。また、国の対策である経営所得安定対策の実施に必要な推進活動及び事務を実施しました。</p> <p>伊賀市農業再生協議会業務委託料 委託先:伊賀市農業再生協議会 主な業務:経営所得安定対策の推進及び関係事務</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費	246,355円	伊賀市農業再生協議会業務委託料 伊賀米振興協議会負担金	
	賃金	1,570,820円		
	委託料	13,543,000円		
	負担金、補助及び交付金	2,481,000円		
	消耗品費	78,825円		
	計	17,920,000円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 経営所得安定対策等推進事業費補助金
			国県支出金	15,510	15,359	15,439	15,359	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	2,481	2,481	2,481	2,481	
	合計(A)	17,991	17,840	17,920	17,840			
	人件費	正規職員	業務量	1.40 人	1.40 人	1.40 人	1.40 人	
			人件費	10,502	10,744	10,744	10,768	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費					
小計(B)			10,502	10,744	10,744	10,768		
合計(A+B)	28,493	28,584	28,664	28,608				
市民1人当たりのコスト(円)			309	312	313	316		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	伊賀米の集荷量	JAへの伊賀米出荷量	袋	目標		300,000	300,000
				実績	297,861	299,577	298,574
指標化できない成果			達成		99.8%	99.5%	

方向	継続	課題及び改善案	協議会の運営については、伊賀市の意見や要望等が反映されるように努める。伊賀米の安定した出荷量が確保できるよう協議会の運営を行う。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-07-01
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	集落協定締結集落及び集落協定参加者		
	目的	水源の涵養、保健休養の多面的機能が及び、住民の経済活動や生活環境を改善する。		
	内容	<p>集落協定締結集落に対して、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。 また、交付金に関する研修会等を実施し推進しました。</p> <p>交付金額(単価) 水田急傾斜:21,000円/10a、水田緩傾斜:8,000円/10a、畑急傾斜:11,500円/10a、畑緩傾斜3,500円/10a 集落協定地区 65集落(平成30年度実績)、65集落(平成31年度実績)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	113,002,488円	中山間地域等直接支払交付金	
	旅費	13,440円		
	消耗品費	450,808円		
	燃料費	15,324円		
	通信運搬費	24,388円		
	電算機借上料	40,040円		
	計	113,546,488円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	78,488	78,547	79,841		78,487
			地方債	0	0	0		0
			その他	0	0	0		0
			一般財源	33,709	33,710	33,705		33,710
		合計(A)	112,197	112,257	113,546	112,197		
		人件費	正規職員	業務量	1.40 人	1.40 人	1.40 人	2.00 人
			人件費	10,502	10,744	10,744	15,382	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
	小計(B)	10,502	10,744	10,744	15,382			
	合計(A+B)	122,699	123,001	124,290	127,579			
	市民1人当たりのコスト(円)	1,328	1,342	1,356	1,409			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	集落協定を維持できる集落の確保率	集落協定内容の遵守	%	目標	100	100	100
				実績	100	100	100
指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	高齢化や後継者不足等により、長期計画を立てるうえで支障をきたしているため、現状に見合った計画の策定等を指導・助言する。
----	----	---------	---

整理番号 257 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)08農業公園管理経費	決算書頁 245
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-08-01
	基本事業 ①	高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	農業公園管理経費			評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	市民ふれあい農園利用者及び伊賀市農業公園利用者		
	目的	市民ふれあい農園の利用者を増加させ、農業振興施策に繋げる。		
	内容	市民の憩い、交流、農業体験を促進し、市民のふれあい及び健康づくり、地域の活性化を図りました。 ・市民ふれあい農園契約区画数 90区画(総区画数:246区画) ・イベント 秋の収穫祭(どろんこ芋掘り) 参加者:160人 保育園芋ほり体験 参加者:119人 ブルーベリー収穫体験 参加者:696人		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	5,050,000円	農業公園指定管理料	
	使用料及び賃借料	713,965円	指定管理者:明日が楽しみな里づくり委員会	
		297,000円	土地建物借上料	
		26,769円	修繕料	
			青蓮寺用水供給事業負担金	
		30,000円		
	計	6,087,734円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 行政財産使用許可(自動販売機設置にかかる使用料)31,000円
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	31	31	31	31	
			一般財源	6,181	6,033	6,057	6,046	
	合計(A)	6,212	6,064	6,088	6,077			
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	1,501	1,535	1,535	1,539	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
				人件費				
小計(B)			1,501	1,535	1,535	1,539		
合計(A+B)	7,713	7,599	7,623	7,616				
市民1人当たりのコスト(円)			84	83	84	85		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市民ふれあい農園利用率	市民ふれあい農園利用の区画利用率	%	目標	60	60	60
				実績	55.28	45.50	37
	指標化できない成果		達成		75.8%	61.0%	

方向	縮小	課題及び改善案 課題としては、利用者の高齢化により契約件数の減少があげられ、若い世代に市民ふれあい農園を知ってもらう必要がある。広報、情報誌、ケーブルテレビ等の広告に加え、イベント等でのPRも実践している。
----	----	--

整理番号 258 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)09農村環境改善センター維持管理経費	決算書頁 245
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	721 健全な財政運営	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-09-01
	基本事業	② 公有資産の有効活用	担当部署	部・課名等
	事務事業名	農村環境改善センター維持管理経費	大山田支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 杉野 寛 0595-47-1150

事務事業の概要	対象	農村環境改善センターの利用者		
	目的	改善センターの維持管理業務を行い、市民各種団体による各種会議・各種講座に利用できる。		
	内容	<p>保守点検や各種検査を継続して実施するとともに、不良箇所については緊急性と故障を及ぼす影響範囲等を踏まえて修繕を行いました。</p> <p>年間を通じ、市民各種団体や公共団体による各種会議・各種講座に施設を利用しました。</p> <p>夜間・土日祝日の利用日は管理人を雇用してセンター利用に対応しました。</p> <p>利用者数6,342人</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	賃金	338,580円	管理人賃金	338,580円
	需用費	771,381円	消耗品費	15,384円
			燃料費・光熱水費	560,037円
			修繕費	195,960円
	役務費	112,200円	手数料	112,200円
	委託料	1,919,369円	施設設備保守点検業務・施設維持管理業務	1,919,369円
	使用料及び賃借料	698,880円	使用料及び賃借料	698,880円
	計	3,840,410円		

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	172	150	182	150	
	一般財源	3,905	4,155	3,658	3,541	
	合計(A)	4,077	4,305	3,840	3,691	
事業費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人
		人件費	1,876	1,919	1,919	1,923
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	1,876	1,919	1,919	1,923	
	合計(A+B)	5,953	6,224	5,759	5,614	
	市民1人当たりのコスト(円)	65	68	63	62	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	利用者数	大山田農村環境改善センターの利用者数	人	目標		15,000	15,000	15,000
				実績	12,469	9,037	6,342	
指標化できない成果			達成		60.2%	42.3%		

方向	改善	課題及び改善案 公共施設最適化計画では将来取壊しとなっており、施設及び設備の老朽化に伴い、必要最小限の修繕を行っている。 本庁機能の移転の影響があり、前年度に比べ利用者数の減少がみられた。
----	----	--

整理番号 259 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)10地域バイオマス 利活用推進事業	決算書頁 247
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-10-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	循環型農業実現モデル推進事業		評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	菜の花プロジェクトに取り組む市民・団体(菜の花プロジェクト推進協議会を含む)、農村景観、地域経済		
	目的	菜の花プロジェクトを推進し、遊休農地での菜の花栽培や特産品販売拡大を通じて地域活性化を図る。		
	内容	遊休農地を利用して菜の花等資源作物を栽培することで、農村地域の景観形成を図りながら循環型農業を目指す「菜の花プロジェクト」を推進しました。また、菜の花プロジェクト推進協議会を通じて、菜の花を核とした活動により農村地域だけに限らず市街地も含めた地域活性化を図りました。循環型農業を通じ、地域の活性化及び遊休農地の解消等の解決を図りました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料 消耗品費	918,000円 667,720円	伊賀市菜の花プロジェクト推進業務委託料 菜種種子購入費等	
	計	1,585,720円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
事業費	直接事業費					
	国県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	1,816	1,726	1,586	1,817	
	合計(A)	1,816	1,726	1,586	1,817	
人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費 751	768	768	770	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費				
	小計(B)	751	768	768	770	
	合計(A+B)	2,567	2,494	2,354	2,587	
市民1人当たりのコスト(円)		28	28	26	29	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
菜種の生産数量	市内で収穫・出荷された菜種の数量	kg	目標		35,000	35,000
			実績	22,460	4,886	13,074
指標化できない成果		達成		13.9%	37.3%	

方向	継続	課題及び改善案	菜種油の販路拡大を図らないと資源循環型農業にはならないため、販路拡大に努力する。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-11-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	特産農産物等振興事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	特定の農産物を栽培する生産組織及び生産者。近隣及び大都市圏の消費者。											
	目的	伊賀の特産食材の流通量の増加、生産意欲の向上、生産拡大を図り、観光客の増加を図る。											
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特産農産物(搾油用菜種、アスパラガス)の生産、流通の構造改革を推進し、農産物の高付加価値化と栽培農家の経営向上を図りました。 ・志摩市との交流事業を通じて伊賀市特産食材の販売促進活動を実施することによる農業者の生産意欲の向上を図り、さらに観光客誘致に繋がりました。 											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び補助金</td> <td>654,700円</td> <td>特産農産物等生産振興補助金</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2,352,695円</td> <td>海と山の地域間連携事業補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,007,395円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び補助金	654,700円	特産農産物等生産振興補助金	〃	2,352,695円	海と山の地域間連携事業補助金	計	3,007,395円
経費	金額	摘要											
負担金、補助及び補助金	654,700円	特産農産物等生産振興補助金											
〃	2,352,695円	海と山の地域間連携事業補助金											
計	3,007,395円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																											
		直接事業費	<table border="1"> <tr><td>国県支出金</td><td>2,009</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>3,000</td><td>2,353</td><td>400</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,559</td><td>1,500</td><td>654</td><td>1,150</td></tr> <tr><td>合計(A)</td><td>4,568</td><td>4,500</td><td>3,007</td><td>1,550</td></tr> </table>	国県支出金	2,009	0		0	0	地方債	0	0	0	0	その他	0	3,000	2,353	400	一般財源	2,559	1,500	654	1,150	合計(A)	4,568	4,500	3,007	1,550				ふるさと応援基金 2,352,695円	
国県支出金	2,009	0	0	0																														
地方債	0	0	0	0																														
その他	0	3,000	2,353	400																														
一般財源	2,559	1,500	654	1,150																														
合計(A)	4,568	4,500	3,007	1,550																														
人件費	<table border="1"> <tr> <td>正規職員</td> <td>業務量 0.80 人</td> <td>0.80 人</td> <td>0.80 人</td> <td>0.80 人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>6,001</td> <td>6,140</td> <td>6,140</td> <td>6,153</td> </tr> <tr> <td>臨時・嘱託・再雇用職員</td> <td>業務量 人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計(B)</td> <td>6,001</td> <td>6,140</td> <td>6,140</td> <td>6,153</td> </tr> <tr> <td>合計(A+B)</td> <td>10,569</td> <td>10,640</td> <td>9,147</td> <td>7,703</td> </tr> </table>	正規職員	業務量 0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人	人件費	6,001	6,140	6,140	6,153	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	人件費					小計(B)	6,001	6,140	6,140	6,153	合計(A+B)	10,569	10,640	9,147	7,703			
正規職員	業務量 0.80 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人																														
人件費	6,001	6,140	6,140	6,153																														
臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人																														
人件費																																		
小計(B)	6,001	6,140	6,140	6,153																														
合計(A+B)	10,569	10,640	9,147	7,703																														
市民1人当たりのコスト(円)		115	117	100	86																													

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
アスパラガスの出荷量	アスパラガスのJAへの出荷量	kg	目標		22,000	22,000	22,000
			実績	16,953	21,019	17,100	
指標化できない成果			達成		95.5%	77.7%	

方向	継続	課題及び改善案 農家の生産意欲向上のため、市内外に向け伊賀産農産物等の魅力をPRし、認知度を高めながら販路拡大に努める。
----	----	---

整理番号 261 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)12有害鳥獣駆除事業	決算書頁 247
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-12-01
	基本事業	③ 有害鳥獣被害への対策	担当部署	部・課名等
	事務事業名	有害鳥獣駆除事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9714

事務事業の概要	対象	被害農家等、地元の猟友会及び会員		
	目的	有害鳥獣個体数の減少による生息数の適正化及び農作物・畑作物被害の削減を図る。		
	内容	有害鳥獣駆除奨励委託料(有害鳥獣捕獲出役、安全対策費)及び報償費(猪、鹿、猿捕獲に対する報奨金)を支払いました。 委託先:伊賀市猟友会		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	2,8089,000円	有害駆除報償費(イノシシ・シカ@9,000円、サル@30,000円)	
	委託料	7,833,500円	有害捕獲頭数 イノシシ696頭 シカ2395頭 サル9頭 有害鳥獣駆除奨励委託料 6,950,000円 特定外来種駆除委託料 883,500円	
	消耗品費	117,648円	アライグマ捕獲檻等	
	計	36,040,148円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	21,470	19,300	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	14,833	14,791	14,398	14,928		
	合計(A)	36,303	34,091	36,040	37,488		
	人件費	正規職員	1.05人	1.05人	1.05人	1.05人	
		業務量					
		人件費	7,877	8,058	8,058	8,076	
		臨時・嘱託・再雇用職員					
		業務量					
		人件費					
	小計(B)	7,877	8,058	8,058	8,076		
	合計(A+B)	44,180	42,149	44,098	45,564		
	市民1人当たりのコスト(円)	478	460	481	504		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	捕獲頭数		有害鳥獣を捕獲し、個体数を調整する。 (猪、鹿、猿)	頭	目標	2,667	2,600	3,155
					実績	2,627	3,086	3,100
指標化できない成果			達成		115.7%	119.2%		

方向	継続	課題及び改善案	被害が増えているが、狩猟免許所有者の数は、減少傾向にある。今後も狩猟免許者数の確保と、有害鳥獣捕獲の推進が必要である。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-13-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者		
	目的	上記の対象農業者に対し、交付金を交付することで農業生産活動の実施を推進する。		
	内容	環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者団体に対し、交付金を交付しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金 その他事務経費	1,948,800 89,000円	環境保全型農業直接支払交付金 消耗品費	
	計	2,037,800円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	1,495	1,968	1,551		2,564
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	458	620	487	825			
	合計(A)	1,953	2,588	2,038	3,389			
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.30 人	
			人件費	1,501	1,535	1,535	2,308	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	1,501	1,535	1,535	2,308		
		合計(A+B)	3,454	4,123	3,573	5,697		
		市民1人当たりのコスト(円)	38	45	39	63		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施面積	環境保全型農業に取り組む実施面積	ha	目標		30	30	30
				実績	25.32	22.94	24	
指標化できない成果			達成		76.5%	80.0%		

方向	継続	課題及び改善案 環境型農業に取り組む農業者の増加にむけて、制度の周知に努めていく必要がある。
-----------	-----------	---

整理番号 263 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)14循環型農業推進施設管理経費	決算書頁 247
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-03-14-01
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	循環型農業推進施設管理経費	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	資源循環型農業推進施設		
	目的	持続可能な資源循環型農業、特産品づくり及び地域景観の向上を促進し、地域活性化を図る。		
	内容	菜の花プロジェクトを推進するうえで核となる施設(菜の舎、バイオ燃料センター)の管理運営を委託し、伊賀産菜種油の生産、資源循環型モデル事業の一環として廃食油を精製しBDF(バイオディーゼル燃料)の生産に取り組んだ。 指定管理先:一社)大山田農林業公社		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	3,000,000円	循環型農業推進施設指定管理料 委託先:一般社団法人 大山田農林業公社	
	需用費-修繕費	3,486,500円	バイオ燃料製造装置修繕費 他	
	計	6,486,500円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,209	3,300	6,487	3,260	
		合計(A)	3,209	3,300	6,487	3,260	
	人件費	正規職員	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		業務量					
		人件費	3,001	3,070	3,070	3,077	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人	
		業務量					
		人件費					
		小計(B)	3,001	3,070	3,070	3,077	
		合計(A+B)	6,210	6,370	9,557	6,337	
		市民1人当たりのコスト(円)	68	70	105	70	

指標	指標名	指標の説明	単位	年度				
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標		4,000	6,000	7,000
	菜種の搾油量	搾油された菜種油の数量	kg	実績	6,085	6,051	6,858	
	指標化できない成果			達成		151.2%	114.3%	

方向	継続	課題及び改善案	菜の花プロジェクトの概要や資源循環型農業推進施設の役割等を広く周知することが必要である。
----	----	---------	--

整理番号 264 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業	決算書頁 247
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-04-01-01
	基本事業	② 担い手農家・集落営農等への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	集落営農支援事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9812

事務事業の概要	対象	営農活動のための農業用機械器具または、建物の新設及び改修を必要としている集落営農組織														
	目的	集落営農組織を支援し、地域農業の安定的発展と集落環境及び機能を維持する。														
	内容	・集落営農支援事業 集落営農組織を対象に農業用機械器具の購入費の助成または、営農組織等に必要な建物の新築・改修費の助成を行いました。														
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>9,638,000円</td> <td colspan="2">集落営農支援事業補助金 (※機械11件、倉庫等2件)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,638,000円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要		負担金、補助及び交付金	9,638,000円	集落営農支援事業補助金 (※機械11件、倉庫等2件)		計	9,638,000円		
	経費	金額	摘要													
負担金、補助及び交付金	9,638,000円	集落営農支援事業補助金 (※機械11件、倉庫等2件)														
計	9,638,000円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,968	11,000	9,638	11,000		
	合計(A)	8,968	11,000	9,638	11,000		
人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	1,501	1,535	1,535	1,539	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,501	1,535	1,535	1,539		
	合計(A+B)	10,469	12,535	11,173	12,539		
	市民1人当たりのコスト(円)	114	137	122	139		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	対象者適用比率(助成者/申請者)	補助金の助成件数	件	目標		10	13	10
				実績	17	10	13	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 集落営農組織については、組織化・法人化ともに行政の支援が必要であり、関係部局(三重県、JA等)と連携を密にしなければならない。
----	----	--

整理番号 265 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業	決算書頁 247
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-04-01-02
	基本事業	① 高付加価値化の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	農林業公社及び生産組合支援事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	一般社団法人大山田農林業公社及び会員		
	目的	地域の農家の住環境向上や営農継続を支援し、公社自体の運営体制の強化充実を図る。		
	内容	農用地等の保全事業等を行うとともに農業経営の合理化を図るため、農地保有合理化の促進、生産性の高い近代的農業の確立を目的に大山田農林業公社に対し運営助成を実施しました。大山田農林業公社が主体となり遊休農地の解消、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などに取り組みました。		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		4,000,000円 500,000円	大山田農林業公社負担金 大山田農林業公社運営助成金
計		4,500,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	4,500	4,500	4,500	4,500	
		合計(A)	4,500	4,500	4,500	4,500	
人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	1,501	1,535	1,535	1,539	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,501	1,535	1,535	1,539		
	合計(A+B)	6,001	6,035	6,035	6,039		
市民1人当たりのコスト(円)			65	66	66	67	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特産品販売高	大山田農林業公社で販売した特産品販売高	千円	目標		25,000	22,000	17,400
				実績	22,114	20,161	16,022	
指標化できない成果			達成		80.6%	72.8%		

方向	継続	課題及び改善案 公社運営の改善については、公社を取り巻く状況と経営状態等の情報収集を早急に行い、関係者間で今後の改善方針を決めた上で改善に向けて指導を行っていく。
----	----	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 27 年度～令和 元 年度	01-06-01-05-01-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	ふるさと水と土保全対策事業		産業振興部農村整備課	課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	事業実施地域住民		
	目的	土地改良施設を基本とする地域住民活動の活性化		
	内容	農村景観の保全など農村環境の維持管理活動に対して、県からの補助金を事業主体である種生地区へ交付を行いました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		種生第3期地域代表	157,000円	5年計画の最終年度 【主な活動内容】 農道・水路補修、除草作業 遊休農用地の整備 (ほたるの里づくり事業) 地域のほたる水路、鑑賞スポット周辺の清掃等
		計	157,000円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	157	157	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	157	157	157	0		
人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.10 人	人	
		人件費	1,126	1,152	768	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,126	1,152	768	0		
	合計(A+B)	1,283	1,309	925	0		
	市民1人当たりのコスト(円)	14	15	11	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	地域活動実績	年次計画活動の達成度	%	目標		100	100	—
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号 267 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)02土地改良事業管理経費	決算書頁 249
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-02-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	土地改良事業管理経費	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	三重県土地改良事業団体連合会及び土地改良区		
	目的	対象となる団体の活動が円滑となる。		
	内容	三重県土地改良事業団体連合会の賦課金と市内の土地改良区へ運営補助金を支出しました。		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	一般賦課金		110,000円	平等割: 10,000円 耕地面積割: 100,000円(7390ha)
	特別賦課金		892,000円	平成30年度実施事業費割
	土地改良区補助金		1,170,000円	伊賀町土地改良区・阿山町土地改良区
	計		2,172,000円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,437	2,330	2,172	2,225	
		合計(A)	2,437	2,330	2,172	2,225	
人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,126	1,152	1,152	1,154	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	1,126	1,152	1,152	1,154	
	合計(A+B)	3,563	3,482	3,324	3,379		
	市民1人当たりのコスト(円)	39	38	37	38		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設・用水の維持管理・実績	事業計画に対する達成団体数	団体	目標		2	2	2
				実績	2	2	2	
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%			

方向	改善	課題及び改善案	土地改良区への補助金については、令和2年度から管理費を目的とした委託費へ移行した。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-02-02
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	過去に造成された土地改良施設の施設及び受益者														
	目的	土地改良施設の老朽化部分を更新して施設機能の回復を図る。														
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・柘植町地区の安田井堰の固定堰が老朽により機能が低下し、又、下流護岸が崩落した為改修工事を行いました。 ・炊村地区の山神池は土羽堤体の為、貯水の波立ちで洗掘被害が著しい事から張ブロックによる堤体保護を行いました。 														
	事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安田井堰改修工事</td> <td style="text-align: right;">9,048,600円</td> <td>柘植町地内 (株)ヒロセ</td> </tr> <tr> <td>山神池護岸改修工事</td> <td style="text-align: right;">6,041,200円</td> <td>炊村地内 (株)東成興業</td> </tr> <tr> <td>土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金</td> <td style="text-align: right;">8,970,000円</td> <td>土地改良施設維持管理適正化事業に加入している地区(18地区)の事業拠出金</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">24,059,800円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	安田井堰改修工事	9,048,600円	柘植町地内 (株)ヒロセ	山神池護岸改修工事	6,041,200円	炊村地内 (株)東成興業	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	8,970,000円	土地改良施設維持管理適正化事業に加入している地区(18地区)の事業拠出金	計	24,059,800円
経費	金額	摘要														
安田井堰改修工事	9,048,600円	柘植町地内 (株)ヒロセ														
山神池護岸改修工事	6,041,200円	炊村地内 (株)東成興業														
土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	8,970,000円	土地改良施設維持管理適正化事業に加入している地区(18地区)の事業拠出金														
計	24,059,800円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 土地改良施設維持管理適正化事業交付金 農業関係土木事業分担金		
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0	
			地方債	1,200	900	0		0	
			その他	29,433	19,022	18,753		22,595	
			一般財源	4,892	4,703	5,307		5,675	
			合計(A)	35,525	24,625	24,060		28,270	
		人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人		0.45 人	0.45 人
				人件費	3,751	3,837		3,454	3,461
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人		人	人
				人件費					
	小計(B)		3,751	3,837	3,454	3,461			
	合計(A+B)		39,276	28,462	27,514	31,731			
	市民1人当たりのコスト(円)		425	311	301	351			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	更新工事の実施地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標	2	2	2
				実績	3	2	2
指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	農業用施設の補修等の要望は多く、本事業での対応箇所が増加しており計画的整備が必要である。(事業費の財政負担:国30%県30%地元40%で事業採択後5年間で事業費を分割負担)

整理番号 269 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)03市単土地改良事業	決算書頁 249
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-03-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農村整備課
事務事業名	市単土地改良事業	評価責任者・連絡先	課長 岩野庄司 0595-22-9718	

事務事業の概要	対象	国・県等の補助対象とならない、受益者2戸以上の小規模な土地改良事業を行おうとする受益者		
	目的	農業用施設のきめ細やかな整備を行い農業生産性の向上と施設維持管理費の軽減を図る。		
	内容	伊賀市土地改良事業等に対する小規模工事費補助及び材料費補助を行い、農業用施設の改修を行いました。金善池に設置されている既存のサイフォン設備については、手で起動しており水位が一定以上低下すれば停止する状態であった為、突発的な降雨による水位上昇に対応し、ため池周辺の防災に努める事を目的にサイフオンの半自動化工事を施工しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	小規模土地改良事業等補助金	6,186,174円	工事費20件、材料費4件	
	金善池サイフォン自動化工事	366,300円	ため池排水施設工事 中央産商(株)	
	その他の経費	210,264円	三重県自治体共同積算システム等使用料 (5台分)	
	計	6,762,738円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	2,767	
		一般財源	10,145	6,730	6,763	13,696	
		合計(A)	10,145	6,730	6,763	16,463	
	人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人
人件費			3,001	3,070	3,070	3,077	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	3,001	3,070	3,070	3,077	
		合計(A+B)	13,146	9,800	9,833	19,540	
		市民1人当たりのコスト(円)	143	107	108	216	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標		100	100	100
				実績	100	98.8	100	
指標化できない成果			達成		98.8%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	大規模土地改良事業は国・県等の補助対象となるが、小規模土地改良事業については他に支援施策がないため、優良な農地の維持を行ううえでは必要不可欠である。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-04-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	震災対策農業水利施設整備事業	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	土地改良施設の受益者及び広域農道橋の通行者		
	目的	老朽化した土地改良施設の長寿命化計画策定及び広域農道橋の耐震計画策定		
	内容	<p>【服部川沿岸3期地区】 開水路工(表面被覆)L:2,723m・ゲート更新・用水監視システム(通信設備更新)・揚水機場電気設備更新。 服部川沿岸3期(上野土地改良区:上荒木地内)の老朽化した農業水利施設の安全性と機能の確保、保全の為に補修、補強、更新を行うことで、維持管理費の低減と安定的な用水供給を目的とした県営事業を進めていくための計画書を策定しました。</p> <p>【高倉大橋】 橋脚耐震補強11基(RC断面補強) 高倉大橋(西高倉地内)は耐震性能が診断の結果不足しており、地震発生時に多大な被害を及ぼす恐れがあることから、災害未然防止や被害の軽減を図るため事業計画書(県営)を策定しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	服部川沿岸3期地区計画策定業務委託	8,052,000円	(株)和合コンサルタント	
	高倉大橋地区施設計画策定業務委託	1,239,700円	(株)共同技術コンサルタント	
	計	9,291,700円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 震災対策農業水利施設整備事業補助金	
		直接事業費	国県支出金	35,000	10,000	8,000		0
			地方債	0	0	0		0
			その他	0	0	0		0
			一般財源	145	1,688	1,292		0
	合計(A)	35,145	11,688	9,292	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.45 人		人
			人件費	5,251	5,372	3,454		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
小計(B)		5,251	5,372	3,454	0			
合計(A+B)	40,396	17,060	12,746	0				
市民1人当たりのコスト(円)		437	187	140	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	計画策定の実施地区数	当該年度に実施する地区数	地区	目標		3	2	0
				実績		3	2	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 今後も施設の修繕計画を行い、管理の軽減を図っていく様事業を進めていく必要がある。

整理番号 271 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)05農業基盤整備促進事業	決算書頁 249
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 元 年度	01-06-01-05-05-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	農業基盤整備促進事業(繰越事業)	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	農地及び農業用施設の受益者								
	目的	農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う。								
	内容	【農地耕作条件改善事業】 上友生地区大池水系中池の樋門は木製の樋門であったことから劣化が著しい状態であった。当池は地域の農業を支える重要な水源を担っているため銅製樋門として更新工事を行いました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上友生地区大池水系中池樋門改修工事</td> <td>3,008,880円</td> <td>ステンレス鑄鋼製斜樋Φ150 N=一式 コンクリート基礎工 N=5基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,008,880円</td> <td>ナガシマ工業(株)</td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	上友生地区大池水系中池樋門改修工事	3,008,880円	ステンレス鑄鋼製斜樋Φ150 N=一式 コンクリート基礎工 N=5基	計	3,008,880円
経費	金額	摘要								
上友生地区大池水系中池樋門改修工事	3,008,880円	ステンレス鑄鋼製斜樋Φ150 N=一式 コンクリート基礎工 N=5基								
計	3,008,880円	ナガシマ工業(株)								

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		事業費	直接事業費			
	国県支出金		1,500	1,500		
	地方債		0	0		
	その他		754	754		
	一般財源		1,746	755		
	合計(A)	0	4,000	3,009	0	
	人件費	正規職員	業務量 人	0.40 人	人	
		人件費	0	3,070	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	
		人件費				
	小計(B)	0	0	3,070	0	
	合計(A+B)	0	4,000	6,079	0	
	市民1人当たりのコスト(円)	0	44	67	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標		—	—	—
				実績		—	—	
	指標化できない成果		達成		—	—		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 26 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-06-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当	部・課名等
	事務事業名	多面的機能支払交付金事業	部署	産業振興部農村整備課
				評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	多面的機能支払交付金を活用する活動組織		
	目的	農地及び農村資源(農道・水路等)保全のための共同活動を支援する。		
	内容	多面的機能支払交付金の交付を受けて活動する組織を設立し、地域ごとの活動を行い農地の保全と農村資源の保全を図り、農村地域が有する多面的機能を維持発揮するための取組を行いました。 多面的機能支払取組地区 106 地区 取組面積 4071 ha		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	多面的機能支払交付金	200,325,544円	資源向上支払交付金(長寿命化) 農地維持支払交付金 資源向上支払交付金(共同活動)	16,687,920円 112,766,800円 70,870,824円
	過年度県支出金精算返還金	30,375円		
	その他の経費	2,745,000円	推進事務費 (事務補助員賃金・保険料ほか)	
	計	203,100,919円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	153,377	158,898	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	50,839	52,133	50,112	53,041		
	合計(A)	204,216	211,031	203,101	213,948		
人件費	正規職員	業務量	1.50 人	1.50 人	1.20 人	1.20 人	
		人件費	11,252	11,511	9,209	9,230	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	11,252	11,511	9,209	9,230		
	合計(A+B)	215,468	222,542	212,310	223,178		
	市民1人当たりのコスト(円)	2,331	2,428	2,316	2,465		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向 **継続**

課題及び改善案
平成27年度から法律に基づき実施されることとなり、安定的に取組めることとなった。一方で近年では高齢化や人口減少に伴い地域での共同活動がこれまでと同じ規模での実施が難しくなっている。又、本事業での活動組織での事務作業が多い為、事業の継続を心配している組織も多い。この課題を軽減すべく令和元年よりシステムを導入し活動組織及び市の事務の効率化を図っている。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大)07県営土地改良事業	決算書頁
273 -		249

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-07-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	県営事業負担金	産業振興部農村整備課	課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	県営土地改良事業を行う受益範囲の受益者																	
	目的	国・県の補助を受けて行う大規模な土地改良事業の受益者負担の内、市が負うべき事業費を負担する。																	
	内容	<p>県営事業で行っている下記の4事業(7地区)の市負担金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村振興総合整備事業による農業施設の改修 ・基幹農道整備事業(保全対策型)による農道の補修 ・農業競争力強化基盤整備事業による農業施設の改修 ・農業水利施設保全合理化事業による農業施設の改修 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営農村振興総合整備事業</td> <td>33,900,000円</td> <td>伊賀2期地区:水路、取水施設整備等 (東高倉・西山・木興町・外山・土橋)</td> </tr> <tr> <td>基幹農道整備保全対策事業</td> <td>22,533,900円</td> <td>伊賀地区:舗装、法面整備 (石川・柘植)</td> </tr> <tr> <td>農業競争力強化基盤整備事業</td> <td>4,661,000円 5,135,000円</td> <td>青蓮寺用水2期地区 青蓮寺用水3期地区</td> </tr> <tr> <td>農業水利施設保全合理化事業</td> <td>4,000,000円 7,370,000円 1,260,000円</td> <td>服部川沿岸2期地区:取水設備改修 (荒木・真泥) 滝谷用水地区:測量業務 (槇山～東湯舟) 滝谷支線用水地区:設計業務 (槇山～東湯舟)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78,859,900円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	県営農村振興総合整備事業	33,900,000円	伊賀2期地区:水路、取水施設整備等 (東高倉・西山・木興町・外山・土橋)	基幹農道整備保全対策事業	22,533,900円	伊賀地区:舗装、法面整備 (石川・柘植)	農業競争力強化基盤整備事業	4,661,000円 5,135,000円	青蓮寺用水2期地区 青蓮寺用水3期地区	農業水利施設保全合理化事業	4,000,000円 7,370,000円 1,260,000円	服部川沿岸2期地区:取水設備改修 (荒木・真泥) 滝谷用水地区:測量業務 (槇山～東湯舟) 滝谷支線用水地区:設計業務 (槇山～東湯舟)	計	78,859,900円
経費	金額	摘要																	
県営農村振興総合整備事業	33,900,000円	伊賀2期地区:水路、取水施設整備等 (東高倉・西山・木興町・外山・土橋)																	
基幹農道整備保全対策事業	22,533,900円	伊賀地区:舗装、法面整備 (石川・柘植)																	
農業競争力強化基盤整備事業	4,661,000円 5,135,000円	青蓮寺用水2期地区 青蓮寺用水3期地区																	
農業水利施設保全合理化事業	4,000,000円 7,370,000円 1,260,000円	服部川沿岸2期地区:取水設備改修 (荒木・真泥) 滝谷用水地区:測量業務 (槇山～東湯舟) 滝谷支線用水地区:設計業務 (槇山～東湯舟)																	
計	78,859,900円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	28,800	55,200	32,500	43,700		
	その他	15,724	26,865	17,114	14,558		
	一般財源	12,514	24,077	29,246	20,503		
	合計(A)	57,038	106,142	78,860	78,761		
人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
		人件費	2,626	2,686	2,686	2,692	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,626	2,686	2,686	2,692		
	合計(A+B)	59,664	108,828	81,546	81,453		
	市民1人当たりのコスト(円)	646	1,188	890	900		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標		100	100	100
				実績	100	79.4	74	
指標化できない成果			達成		79.4%	74.3%		

方向	継続	課題及び改善案	農業基盤整備の進捗を図るため継続実施する。
----	----	---------	-----------------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 元 年度	01-06-01-05-07-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	県営事業負担金(繰越事業)	産業振興部農村整備課	課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	県営土地改良事業を行う受益範囲の受益者		
	目的	国・県の補助を受けて行う大規模な土地改良事業の受益者負担の内、市が負うべき事業費を負担する。		
	内容	県営事業で行っている農業競争力強化基盤整備事業による農業施設の改修に市負担金を支出しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	農業競争力強化基盤整備事業	4,937,500円 5,925,000円	青蓮寺用水2期地区 青蓮寺用水3期地区	
			予野地区第1他揚水機場工事 ・揚水機更新 5台 ・フロート弁更新 8台	
	計	10,862,500円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金		0	0		県営土地改良事業分担金
	地方債		0	0		
	その他		2,963	2,963		
	一般財源		7,900	7,899		
	合計(A)	0	10,863	10,862	0	
人件費	正規職員	業務量 人	0.10 人	0.10 人	人	
		人件費	0	768	768	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費				
	小計(B)	0	768	768	0	
合計(A+B)	0	11,631	11,630	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	127	127	0	

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標			目標		-	-	-
			実績		-	-	
			達成		-	-	
指標化できない成果			達成		-	-	

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号 275 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)08地域農政特別対策事業	決算書頁 249
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 30 年度～令和 元 年度	01-06-01-05-08-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農村整備課
	事務事業名	地域農政特別対策事業(繰越事業)		評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	旧島ヶ原村より境界未確定がある島ヶ原第5工区		
	目的	境界問題を解消するとともに、現在の基準により実施し換地処理を完了させる		
	内容	島ヶ原第5工区の換地業務における用地取得及び、抵当権抹消事務を行いました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		登記事務委託料	92,000円	伊賀市島ヶ原 島井登記事務所
		換地進入道路用地取得金	297,000円	大阪府在住地権者
		計	389,000円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
事業費	直接事業費	国県支出金		0	0			
		地方債		0	0			
		その他		0	0			
		一般財源		478	389			
		合計(A)	0	478	389	0		
	人件費	正規職員	業務量	人	0.20 人	0.20 人		人
			人件費	0	1,535	1,535		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
		小計(B)	0	1,535	1,535	0		
合計(A+B)	0	2,013	1,924	0				
市民1人当たりのコスト(円)			0	22	21	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	達成	達成
					—	—	—
	指標化できない成果			達成	—	—	—

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-05-10-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農村整備課 評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718
事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			

事務事業の概要	対象	農地及び農業用施設の受益者		
	目的	農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う。		
	内容	<p>・南沢池(瀧地内)はかつては地域農業を支える重要な水資源であったが、現在は受益がなく地域では維持管理に苦難している。このことから廃池を要望しており今年度は廃池に向けた設計業務委託を行いました。</p> <p>・丸柱・新堂・柏尾地内の農業用水路は老朽化により、本来の農業需要に対して十分な供給を図ることが困難となっている。したがって当水路の改修工事を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	南沢池廃止調査設計業務委託	2,739,000円	桔梗測量設計(株)	
	南沢池に伴う簡易生態系生物調査委託	99,000円	赤井測量設計(株)	
	丸柱地内農業用水路改修工事	5,023,700円	U-450 L=119.4m	山本建設(株)
	新堂地内農業用水路改修工事	2,275,900円	L型水路 L=10.0m	(株)東成興業
	柏尾地内農業用水路改修工事	3,015,100円	U-300B L=86.5m	(株)シュウケン
	その他の経費	441,318円	消耗品費	
	計	13,594,018円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業補助金 農業関係土木事業費分担金	
		直接事業費	国県支出金	12,500	15,000	7,989		15,000
			地方債	2,100	2,500	2,200		6,800
			その他	6,376	2,650	2,532		7,600
			一般財源	4,880	1,050	873		1,450
		合計(A)	25,856	21,200	13,594	30,850		
	人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.55 人	0.55 人	
			人件費	4,501	4,605	4,221	4,231	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
	小計(B)	4,501	4,605	4,221	4,231			
	合計(A+B)	30,357	25,805	17,815	35,081			
	市民1人当たりのコスト(円)	329	282	195	388			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	整備工事の実施地区数	事業により恩恵を受ける地域数	地区	目標		3	4	2
				実績	3	3	3	
指標化できない成果			達成		100.0%	75.0%		

方向 継続

課題及び改善案 伊賀市では約1400箇所のため池を保有しており、三重県内のため池のおよそ半数が伊賀市内に存在する。この内、既に利用がないため池も多く、それらのため池は維持管理がなされておらず老朽化が特に進んでいます。そのため廃止すべきため池を抽出し、所有者等の特定を急ぎ条件設備が整ったため池から順次工事を実施し、市民の安全安心の生活を確保する必要がある。

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)10農業水路等 長寿命化・防災減災事業	決算書頁
277 -		251

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 元 年度	01-06-01-05-10-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等 産業振興部農村整備課
	事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業(繰越事業)		評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	農地及び農業用施設の受益者		
	目的	農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う。		
	内容	伊賀市平野地内の第3ゲートの操作盤の劣化が著しく、機能が停止した場合、地域の農業への影響が大きいことから当操作盤の更新工事を行いました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		平野第3ゲート操作盤更新工事	2,592,000円	操作盤取替 1基 ・操作盤(W=740・H=1200) ・操作機器類 開成工業(株)
		計	2,592,000円	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 農業水路等長寿命化・防災減災事業農業補助金 農業関係土木事業費分担金
			国県支出金		1,250	1,250		
			地方債		0	0		
			その他		709	671		
			一般財源		709	671		
	合計(A)	0	2,668	2,592	0			
	人件費	正規職員	業務量	人	0.10	人	0.10	人
			人件費	0	768	768	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)	0	768	768	0				
合計(A+B)	0	3,436	3,360	0				
市民1人当たりのコスト(円)	0	38	37	0				

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	—	—	—
				実績	—	—	—
	指標化できない成果			達成	—	—	—

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調査費(大事業)01国土調査事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-06-01-01
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	部・課名等
	事務事業名	国土調査推進事業	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体		
	目的	国・県の連携を密にし、国土調査業務を円滑に推進させる		
	内容	<p>・国・東海ブロック・県との連携をとり、地籍調査推進の為の情報交換や問題解決に向けた手法の共有に努めました。</p> <p>・上友生 I-①、I-②地区の地籍調査成果について、経年による変更点並びに法務局から指摘のあった箇所等について修正し、三重県に認証請求を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	認証申請に伴う成果等修正業務委託		561,000円	(株)共同技術コンサルタント
	三重県国土調査推進協議会負担金		53,000円	三重県協議会 21,000円 東海ブロック協議会 7,000円 全国協議会 25,000円
	旅費		32,176円	三重県国土調査推進協議会省庁要望 地籍測量等制度運用・実務研修会
	計		646,176円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	711	881	646	2,234	
		合計(A)	711	881	646	2,234	
人件費	正規職員	業務量	0.65 人	0.65 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	4,876	4,989	1,535	1,539	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	4,876	4,989	1,535	1,539	
	合計(A+B)	5,587	5,870	2,181	3,773		
市民1人当たりのコスト(円)			61	65	24	42	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	国土調査事業推進	地籍調査データの確定	knf	目標		0.12	0.11	0.11
				実績	0.17	0.23	0	
指標化できない成果	調査業務の習熟度、及び地籍調査への理解	達成		192.0%	82.0%			

方向 継続
課題及び改善案
南海トラフ地震で甚大な被害が想定されるが、東海地方の国土調査の進捗率は低い。県及び周辺市町との連携により有事に際の情報の活用を図りたい。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-01-06-01-02
	基本事業	⑤ 農業・農村の多面的機能維持向上への支援	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	国土調査事業	産業振興部農村整備課	課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体		
	目的	地籍の明確化を図り、土地利用の高度化に役立てる。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中村②地区(0.11km²)で基準点設置、一筆地調査、一筆地測量を実施しました。 ・中村 I -①地区(0.11km²)で地積測量、地籍簿案を作成しました。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	地籍調査委託料	6,267,521円	測量業務委託(中村I-①・I-②地区) 関共同技術コンサルタント 成果検定業務委託(中村I-①地区) 全国国土調査協会	
	事務補助員賃金・保険料	805,363円	1名×5ヶ月分	
	作業員賃金	90,180円	推進委員調査協力日当(9名分)	
	その他の経費	351,369円	旅費、消耗品費、燃料費等	
	計	7,514,433円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	5,757	17,523	5,256	12,666		社会資本整備円滑化地籍整備交付金
			地方債	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0		
			一般財源	1,960	5,841	2,258	4,212		
	合計(A)	7,717	23,364	7,514	16,878				
	人件費	正規職員	業務量	1.05 人	1.05 人	1.20 人	1.20 人		
			人件費	7,877	8,058	9,209	9,230		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		7,877	8,058	9,209	9,230				
合計(A+B)	15,594	31,422	16,723	26,108					
市民1人当たりのコスト(円)		169	343	183	289				

指標	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	国土調査事業	新規着手面積	km ²	目標	0.12	0.15	0.15	
				実績	0.23	0.11	0.11	
指標化できない成果			達成	91.7%	73.3%			

方向	充実	課題及び改善案 当市の筆界について地権者間の協議が整わない等の理由により、事業が中断している地区が残っている。現年度の事業を遅延なく進めていくとともに、中断している地区についても、粘り強く地権者と交渉し事業の完成に努めたい。
----	----	---

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大)01畜産振興事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 25 年度～令和 2 年度	01-06-01-07-01-01
	基本事業	④ 畜産振興事業	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	畜産振興事務経費	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」																					
	目的	口蹄疫病などの伝染病の予防及び畜産農家の経営安定化、銘柄牛の優良化を図る。																					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・優良素牛導入の促進を図るため、補助金を交付しました。 ・伝染病予防接種薬剤費に対して補助しました。 ・振興団体への補助及び協議会負担金(単年度事業)を支出しました。 ・畜産クラスター事業で、伊賀牛増頭に向けた市内畜産事業者による牛舎建設のため、補助金を交付しました。 																					
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>570,000円</td> <td>伊賀産肉牛生産振興協議会負担金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>339,708円</td> <td>家畜保健衛生対策事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7,500,000円</td> <td>優良素牛導入助成金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>450,000円</td> <td>和牛肥育組合振興助成金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>96,636,000円</td> <td>畜産施設整備等(畜産クラスター)事業費補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>105,495,708円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	570,000円	伊賀産肉牛生産振興協議会負担金		339,708円	家畜保健衛生対策事業費補助金		7,500,000円	優良素牛導入助成金		450,000円	和牛肥育組合振興助成金		96,636,000円	畜産施設整備等(畜産クラスター)事業費補助金	計	105,495,708円	
経費	金額	摘要																					
負担金、補助及び交付金	570,000円	伊賀産肉牛生産振興協議会負担金																					
	339,708円	家畜保健衛生対策事業費補助金																					
	7,500,000円	優良素牛導入助成金																					
	450,000円	和牛肥育組合振興助成金																					
	96,636,000円	畜産施設整備等(畜産クラスター)事業費補助金																					
計	105,495,708円																						

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																																																														
		直接事業費	<table border="1"> <tr> <td>国県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>96,636</td> <td>0</td> <td rowspan="5">畜産施設整備等事業費補助金 96,636,000円 ふるさと応援基金 7,500,000円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>7,500</td> <td>7,500</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,322</td> <td>1,480</td> <td>1,360</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>合計(A)</td> <td>8,322</td> <td>8,980</td> <td>105,496</td> <td>8,980</td> </tr> </table>	国県支出金	0	0		96,636	0	畜産施設整備等事業費補助金 96,636,000円 ふるさと応援基金 7,500,000円	地方債	0	0	0	0	その他	0	7,500	7,500	7,500	一般財源	8,322	1,480	1,360	1,480	合計(A)	8,322	8,980	105,496	8,980	<table border="1"> <tr> <td>正規職員</td> <td>業務量</td> <td>0.25 人</td> <td>0.25 人</td> <td>0.25 人</td> <td>0.25 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>人件費</td> <td>1,876</td> <td>1,919</td> <td>1,919</td> <td>1,923</td> </tr> <tr> <td>臨時・嘱託・再雇用職員</td> <td>業務量</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計(B)</td> <td></td> <td>1,876</td> <td>1,919</td> <td>1,919</td> <td>1,923</td> </tr> <tr> <td>合計(A+B)</td> <td></td> <td>10,198</td> <td>10,899</td> <td>107,415</td> <td>10,903</td> </tr> <tr> <td>市民1人当たりのコスト(円)</td> <td></td> <td>111</td> <td>119</td> <td>1,172</td> <td>121</td> </tr> </table>	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	人件費	人件費	1,876	1,919	1,919	1,923	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人件費					小計(B)		1,876	1,919	1,919	1,923	合計(A+B)		10,198	10,899	107,415	10,903	市民1人当たりのコスト(円)		111
国県支出金	0	0	96,636	0	畜産施設整備等事業費補助金 96,636,000円 ふるさと応援基金 7,500,000円																																																																
地方債	0	0	0	0																																																																	
その他	0	7,500	7,500	7,500																																																																	
一般財源	8,322	1,480	1,360	1,480																																																																	
合計(A)	8,322	8,980	105,496	8,980																																																																	
正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人																																																																
人件費	人件費	1,876	1,919	1,919	1,923																																																																
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人																																																																
	人件費																																																																				
小計(B)		1,876	1,919	1,919	1,923																																																																
合計(A+B)		10,198	10,899	107,415	10,903																																																																
市民1人当たりのコスト(円)		111	119	1,172	121																																																																

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	優良素牛導入頭数	いがほくぶ和牛肥育部会の優良素牛の導入頭数	頭	目標		465	500	500
				実績	466	467	502	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	伊賀牛の生産が年々減少してきているので、増頭に向けた施策が必要である。平成29年度において、優良素牛の単価を引き上げ、平成31年度には優良素牛の導入頭数を引き上げた。今後も引き続き畜産振興に向けた取組を行う。
----	----	---------	--

整理番号
281 -

決算書頁
251

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)02畜産振興事業費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	321	自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 29 年度～令和 2 年度	01-06-01-07-02-01
	基本事業	④ 畜産振興事業	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	畜産振興事業費			評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9713

事務事業の概要	対象	伊賀牛の生産関係者		
	目的	伊賀牛の振興および飼養頭数の増頭を目指す		
	内容	<p>①伊賀牛の増頭に関する検討会議を設立し、伊賀牛の増頭に関する検討構想についてとりまとめ、平成31年2月に伊賀市長に対し提言を行いました。令和元年度については、市長提言の中で提唱した地域内で和牛素牛を生産するための施設(CS(キャトルステーション)、CBS(キャトルブリーディングステーション))の整備に向け、現在地域内で不足している素牛生産に関する技術・知見を獲得するための検討を行い、「地域内で伊賀牛の繁殖から肥育までつなげる構想」を作成しました。</p> <p>②伊賀牛振興の拠点であった伊賀市食肉センターが平成30年度をもって廃止となったため、新たな拠点として「伊賀肉冷蔵センター」の建設を行い、その運営に対し支援を行いました。</p> <p>また、食肉センター廃止後により市外のと畜場を利用することとなった市内の食肉事業者に対し、生体輸送費および枝肉カット費について、一部助成を行いました。</p> <p>③旧伊賀市食肉センターの廃止に伴う施設内の清掃作業、下水処理施設機器の撤去工事、その他施設閉鎖に必要な諸手続きを行いました。</p>		
事業に要した主な経費など				
	需用費	791,395円	消耗品・光熱費・修繕費等	
	役務費	55,757円	通信運搬費・手数料	
	委託料	4,324,541円	旧伊賀市食肉センター清掃作業等委託料等 4,324,372円	
			伊賀牛の増頭に関する検討事業委託料 196円	
	工事請負費	2,538,000円	旧伊賀市食肉センター汚水処理施設機器等撤去工事	
	負担金、補助及び交付金	8,339,502円	伊賀牛振興補助金(伊賀肉冷蔵センター建設) 4,202,594円	
			伊賀牛振興補助金(伊賀肉冷蔵センター運営助成) 370,008円	
			伊賀牛振興補助金(生体輸送費・枝肉カット費助成) 3,766,000円	
	積立金	87,704円		
	計	16,136,899円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	249	500	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	2,045	0		
	一般財源	250	500	14,092	3,951		
	合計(A)	499	1,000	16,137	4,451		
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.60 人	0.25 人	
		人件費	751	768	4,605	1,923	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	751	768	4,605	1,923		
	合計(A+B)	1,250	1,768	20,742	6,374		
	市民1人当たりのコスト(円)	14	20	227	71		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	市長提言の実現に向けた構想に係る業務委託のため指標化は困難		達成			

方向	継続	課題及び改善案	引き続き伊賀牛の増頭に関する検討と伊賀地域内で素牛生産技術・知見を獲得するため「伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業」を実施する。安定した和牛素牛確保に向けた施設(CS、CBS)整備に向けた検討も引き続き実施する。
----	----	---------	--

整理番号
282 -

決算書頁
251

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)02畜産振興事業費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	321 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	平成 30 年度～令和 1 年度	01-06-01-07-02-01
	基本事業	(4) 畜産振興事業	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	畜産振興事業費(繰越明許費分)	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀牛の生産関係者		
	目的	伊賀牛振興を目指す		
	内容	伊賀牛振興の拠点であった伊賀市食肉センターが平成30年度をもって廃止となったため、新たな拠点として「伊賀肉冷蔵センター」の建設を行い、その運営に対し支援を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助金及び交付金	189,390,000円	伊賀牛振興補助金(伊賀肉冷蔵センター建設費)	
	計	189,390,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金			91,746		
	地方債							
	その他							
	一般財源			97,644				
	合計(A)		0	0	189,390	0		
	人件費	正規職員	業務量	人	人	0.60	人	
		人件費	0	0	4,605	0		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費						
		小計(B)	0	0	4,605	0		
		合計(A+B)	0	0	193,995	0		
		市民1人当たりのコスト(円)	0	0	2,116	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	施設建設事業であるため、市評価は困難。		達成			

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)01林業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-01-01
	基本事業	② 木材の利用促進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	林業振興経費	大山田支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 杉野 寛 0595-47-1150

事務事業の概要	対象	間伐等森林施業及び林業関係団体と市民								
	目的	間伐等森林施業の推進と担い手育成及び森林と住民との関係づくり								
	内容	大山田支所管内の林道を定期的に巡視し適正な維持管理を行いました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>213,400円</td> <td>森林管理巡視業務委託料(伊賀森林組合) 213,400円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>213,400円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	213,400円	森林管理巡視業務委託料(伊賀森林組合) 213,400円	計	213,400円
経費	金額	摘要								
委託料	213,400円	森林管理巡視業務委託料(伊賀森林組合) 213,400円								
計	213,400円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	205	214	213	0	
		合計(A)	205	214	213	0	
	人件費	正規職員	業務量 0.08 人	0.08 人	0.08 人	人	
		人件費	601	614	614	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	601	614	614	0	
合計(A+B)	806	828	827	0			
市民1人当たりのコスト(円)			9	10	10	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	報告回数	森林巡視による路肩崩壊等の通行障害や不法投棄の報告	回	目標	15	30	
				実績	32	40	40
	指標化できない成果		達成		266.6%	133.3%	

方向	統合	課題及び改善案	林道の巡視が主であった為、令和2年度から治山林道維持経費へ移行した。
----	----	---------	------------------------------------

整理番号
284 -

決算書頁
253

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-02-01
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林環境創造事業	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	環境林整備計画に位置づけられた森林		
	目的	環境林整備計画に基づき間伐等適正管理を行うことで、環境林の持つ多面的機能を発揮できる。		
	内容	<p>・環境林整備計画に位置づけられた森林において、調査等を実施した上で、森林の多面的機能を高く発揮できる森林にするため、強度の間伐等を計画的に実施し、下草の生えた、水源かん養機能や山地災害防止機能の高い環境林整備を行いました。</p> <p>・間伐 14.06 ha</p>		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	報酬 旅費 委託料		54,000円 7,622円 3,890,700円	森林管理協議会委員 報酬 森林管理協議会委員 旅費 森林環境創造事業委託料 委託先:伊賀森林組合
	計		3,952,322円	

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	2,408	2,625	3,118	3,590	森林環境創造事業費補助金 1,248,000円 美しい森林づくり基盤整備交付金 1,870,000円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,625	1,449	834	535	
		合計(A)	4,033	4,074	3,952	4,125	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	751	768	768	770	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	751	768	768	770	
合計(A+B)	4,784	4,842	4,720	4,895			
市民1人当たりのコスト(円)		52	53	52	55		

指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
指標	環境林整備面積	間伐により直接的に森林整備を行った面積	ha	目標		100	18.5	15
				実績	19.19	16.16	14	
	指標化できない成果		達成		16.2%	75.7%		

方向	継続	課題及び改善案	環境林整備の必要性は高いが、県の施策に基づく事業であり年々事業量が減少している。環境林整備を進めるため、令和元年度から森林環境譲与税事業においても環境林整備を行い、進捗を図っている。

整理番号
285 -

決算書頁
253

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 16 年度～令和 元 年度	01-06-02-02-02-02
	基本事業 ①	間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	森林保育造林事業		評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市内の森林整備		
	目的	間伐や枝打ち等の作業費負担を軽減し適正な森林管理を促す。		
	内容	伊賀森林組合を通じて代理申請された、造林補助事業の間伐・下刈り・枝打ちなどの作業に対して、標準経費の15%以内で補助金を交付しました。 流域公益保全林整備事業等補助金: 1,038,000円 再造林0ha、下刈り0ha、枝打ち0ha、間伐2.87ha、搬出間伐29.23ha		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		1,038,000円	流域公益保全林整備事業等補助金
計		1,038,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,038	1,038	1,038	0	
		合計(A)	1,038	1,038	1,038	0	
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.00 人	
		人件費	751	768	768	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	751	768	768	0		
	合計(A+B)	1,789	1,806	1,806	0		
市民1人当たりのコスト(円)			20	20	20	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	年度			
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標	施業面積	補助対象となった施業面積	ha	目標	40	40	0
				実績	57.45	37.15	32
	指標化できない成果		達成	92.8%	80.0%		

方向 廃止

課題及び改善案 令和元年度から新たに森林環境譲与税事業を実施し、森林の計画的な整備と公益的機能の適正な維持保全を図っているため、三重県の造林補助事業の上乗せ補助として実施していた当事業は廃止することとする。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切に、林業を元気にする	平成 23 年度～令和 元 年度	01-06-02-02-02-03
	基本事業	③ 担い手の育成支援と森林施業地の団地化の促進	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林経営計画作成推進事業	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	森林経営計画作成者		
	目的	森林所有者の同意の取り付けなどの地域活動を支援し森林経営計画の作成を進める。		
	内容	<p>市と結んだ森林整備地域活動実施協定に基づき森林経営計画の作成にかかる合意や集約化施業にかかる合意の取り付けを行うのに必要な経費を当初予算では計上していたが、今年度は当事業の申請が無かったため実施していない。</p> <p>森林経営計画作成推進事業補助金:0円 積算基礎森林面積:0ha(協定により活動し合意の取り付けが行われた面積)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	0円	森林境界明確化事業補助金 森林経営計画作成推進事業補助金	0円
	計	円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
事業費	直接事業費	5,227	7,627	0	0	森林経営計画作成推進事業交付金 0円
	国県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	2,354	3,575	0	0	
	一般財源	7,581	11,202	0	0	
人件費	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.00 人	0.00 人	
	業務量	751	768	0	0	
	人件費					
	臨時・嘱託・再雇用職員					
	業務量					
人件費						
小計(B)	751	768	0	0		
合計(A+B)	8,332	11,970	0	0		
市民1人当たりのコスト(円)		91	131	0	0	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
森林地域活動支援交付金積算基礎森林面積	協定により活動し合意の取り付けが行われた面積	ha	目標		300	300
			実績	399.05	185	0
指標化できない成果		達成		61.7%	0.0%	

方向	廃止	課題及び改善案	<p>持続可能な森林経営を確立し森林の多面的機能を十分に発揮させるために、効率的な森林施業や適切な森林の保護を進めていく上で森林経営計画の作成の推進は重要であるが、令和元年度においては事業者から事業要望が無かった。令和2年度においても事業要望が無い状況であるため、当初予算に計上していない。</p> <p>森林境界の明確化事業を着実に実施して行くことは重要であるが、当事業は三重県の負担分(事業費の4分の1)の予算措置が厳しい状況であり、事業費の単価を適正に設定出来ないため、令和元年度から森林環境譲与税事業において森林境界明確化事業を実施している。</p>
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-02-05
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	緊急間伐・搬出間伐推進事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市内の森林		
	目的	森林所有者の間伐作業を推進し森林整備が適正に行われるようにする。		
	内容	<p>市内に存在する森林の適正管理を推進するため、緊急に間伐すべき森林において間伐経費と搬出経費の一部を助成しました。 搬出間伐に対して助成することにより、間伐材の有効利用と林業の活性化を促しました。</p> <p>緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金 申請件数 83件 間伐本数 23,904本 間伐面積 59.42ha</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	880,000円	緊急間伐対策完了検査委託料	
	負担金、補助及び交付金	5,674,207円	委託先:伊賀森林組合	
	消耗品費	2,920円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金	
	計	6,557,127円		

	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	3,068	2,996	
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	4,116	5,718	4,077	6,606	
	合計(A)	7,184	8,714	6,557	8,706	
人件費	正規職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費 1,501	1,535	1,535	1,539	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費				
	小計(B)	1,501	1,535	1,535	1,539	
	合計(A+B)	8,685	10,249	8,092	10,245	
市民1人当たりのコスト(円)		94	112	89	114	

指標名	指標の説明	単位	年度			
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
緊急間伐・搬出間伐補助本数	補助事業により間伐された本数	本	目標	40,000	36,000	33,000
			実績	26,935	29,108	23,904
指標化できない成果		達成		72.8%	66.4%	

方向	継続	課題及び改善案 森林所有者等の高齢化により申請件数の低迷が見られるが、直接森林所有者に対して支援する伊賀市独自の事業であり、事業の啓発に努める。 国補財源の美しい森林づくり基盤整備交付金(補助率50/100)の交付期間が令和2年度までとなり、令和3年度以降の国補財源の有無が未確定である。
----	----	--

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 31 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-02-07
	基本事業 ①	間伐等の森林施業の促進	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	流域防災機能強化対策事業	産業振興部農林振興課	課長 小林 康志	0595-22-9712

事務事業の概要	対象	渓流沿い等の森林整備		
	目的	流域における防災機能を強化するため、土砂流出の危険性が高く、早急な整備が必要とされる箇所の森林整備を行う。		
	内容	<p>【災害緩衝林一体型】 みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化する森林</p> <p>【環境林・特定水源地域】 伊賀市森林整備計画に定める県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例で特定水源地域に指定されている森林</p> <p>上記の森林において、水源のかん養機能を始めとした多様な公益的機能の持続的かつ高度な発揮を目指す新たな取り組みとして、下層植生や広葉樹の導入を目的とした強度の間伐を継続的に行うことで、多様で力強い森林づくりを行います。</p> <p>・間伐等(災害緩衝林一体型):57.09ha、(環境林・特定水源地域)10.25ha</p>		
事業に要した主な経費など	委託料	19,987,000円	伊賀森林組合	
	計	19,987,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	20,000	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	0	20,000	19,987	11,000		
人件費	正規職員	業務量	人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	0	768	768	770	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費					
	小計(B)	0	768	768	770		
	合計(A+B)	0	20,768	20,755	11,770		
	市民1人当たりのコスト(円)	0	227	227	130		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	間伐面積	事業において間伐を実施した面積	ha	目標			55	44
				実績			67	
指標化できない成果			達成			121.8%		

方向	継続	課題及び改善案	「土砂災害防止機能」「水源かん養機能」など森林の有する多面的機能を守るとは森林所有者のみでなく、市民全員の生活環境を守る意味でも重要である。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	311	観光客を呼び込み、もてなす	平成 23 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-03-01
	基本事業 ②	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	ハーモニー・フォレスト維持管理経費		青山支所振興課	課長 稲森真一 0595-52-1112

事務事業の概要	対象	市民及び市外(都市)住民		
	目的	都市と川上ダム上流域の地域資源を活用した山村の交流を促進し、地元地区の地域活性化に努める。		
	内容	<p>・青山ハーモニー・フォレストの管理に関する包括協定書及び年度協定書に基づき、施設の良好な維持管理及び運営に努めました。</p> <p>・今年度は、施設利用料金の改定と併せて繁忙期と閑散期の利用料金に違いを設ける等の料金体系の見直しを行い、将来的な収入の増加を見込みました。</p> <p>・指定管理者は、施設利用者を増やすための自主事業としてパークゴルフ大会を3回開催し、また年間を通じて地元農産物の直売を実施しました。</p> <p>・川上ダムのダムカード配布所として登録し、ダムカードを求めて全国から多くの方が来場しました。</p> <p>・オートキャンプ場やバーベキュー場は例年、春から秋にかけての休日、特にゴールデンウィークや夏休み期間に多く利用されますが、今年は天候不順の影響で各施設のキャンセルが多かったです。</p> <p>・施設設備の維持管理については、広大な敷地の草刈り作業を中心に行いました。特にパークゴルフ場のコースコンディションを適正に保つことで、利用者数の維持に努めました。</p> <p>(オートキャンプ場利用者数) H29: 790人 H30: 1,645人 H31(R1): 1,664人 (バーベキュー場利用者数) H29: 1,074人 H30: 1,199人 H31(R1): 1,044人 (パークゴルフ場利用者数) H29: 1,687人 H30: 1,481人 H31(R1): 1,183人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	5,000,000円	ハーモニー・フォレスト指定管理料 (指定管理者:種生区)	
	需用費	273,789円	修繕料	
	計	5,273,789円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費				
		国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	5,986	5,220	5,274	5,313
合計(A)		5,986	5,220	5,274	5,313	
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.27 人	0.27 人	0.31 人
		人件費	751	2,072	2,072	2,385
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
		人件費				
小計(B)		751	2,072	2,072	2,385	
合計(A+B)		6,737	7,292	7,346	7,698	
市民1人当たりのコスト(円)		73	80	81	85	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設年間利用者数	指定管理者が、前年度利用者数を下回らないようイベント内容の検討を行っている。	人	目標	9,500	11,000	7,000
			実績	9,531	10,481	10,963
指標化できない成果		達成		110.3%	99.7%	

方向	継続	<p>課題及び改善案</p> <p>当該施設は、川上ダム建設を契機に青山地域の振興を図るべく、ダムの上流地域と下流地域を結ぶ拠点施設として開設されました。しかし、開設後13年が経過し、敷地内の樹木は繁茂密集し、また施設設備自体も経年に伴う劣化が現れてきました。</p> <p>今後も指定管理者等と協働し、施設の良好な維持管理に努めるとともに、地域の観光資源を活用した仕組みづくりや新たな事業の構築により、施設利用者の拡大を目指します。</p>
----	----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-04-01
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	治山林道維持経費	産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	市管理の広域基幹林道の利用者		
	目的	林道の正常な通行を確保するため維持管理を行う。		
	内容	市が直接管理する基幹林道の維持管理として、総延長29,234mの路肩除草や舗装補修、崩落土砂の撤去等を行い、さらに林道関係の小規模工事と材料費補助を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	草刈業務委託	2,918,400円	シルバー人材センター 1箇所 計8件 地元委託 7地区	
	小規模土地改良事業等補助金	1,290,009円	工事費1件・材料費3件	
	その他の経費 ※島ヶ原・大山田・青山支所 需用費経費分	330,300円 1,064,886円		
	計	5,603,595円		

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	0	0	0		0
事業費	国県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,132	5,093	5,604	5,213		
	合計(A)	6,132	5,093	5,604	5,213		
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	3,001	3,070	1,535	1,539	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,001	3,070	1,535	1,539		
合計(A+B)	9,133	8,163	7,139	6,752			
市民1人当たりのコスト(円)	99	90	78	75			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標		100	100	100
				実績	100	99	110	
指標化できない成果			達成		99.0%	110.0%		

方向	継続	課題及び改善案	林道機能を維持し森林作業や一般通行者の利便性を維持するために必要である。
----	----	---------	--------------------------------------

整理番号 291 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)05森林基盤整備事業	決算書頁 255
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 30 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-05-01
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農村整備課
	事務事業名	森林環境保全整備事業	評価責任者・連絡先	課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	伊賀市の直轄林道に架かる橋梁		
	目的	伊賀市直轄林道橋の点検・機能を診断		
	内容	平成30年度では16橋、令和元年度では107橋の林道橋について点検診断を行いました。これに加え、令和2年度では47橋の点検診断を行う予定となっており、これらの結果から早期措置段階・緊急措置段階と診断された橋梁について令和2年度において長寿命化計画の策定予定となっている。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	橋梁点検診断業務委託	12,267,200円	点検診断 N=107橋 橋長4m以上15m未満:100橋 橋長15m以上:7橋	共同技術コンサルタント
	その他の経費	199,943円	消耗品費	
	計	12,467,143円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国庫支出金	1,384	6,000	6,133	0		農山漁村地域整備交付金
			地方債	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0		
			一般財源	1,409	6,225	6,334	8,008		
	合計(A)	2,793	12,225	12,467	8,008				
	人件費	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.30 人	0.30 人		
			人件費	4,126	4,221	2,303	2,308		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		4,126	4,221	2,303	2,308				
合計(A+B)	6,919	16,446	14,770	10,316					
市民1人当たりのコスト(円)			75	180	162	114			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業の進捗率	橋梁点検による作業進捗	橋	目標		16	89	47
				実績		16	107	
指標化できない成果			達成		100.0%	120.0%		

方向	継続	課題及び改善案	利用頻度の少ない林道及び林道橋等の施設管理。改善策としては利用頻度の少ない林道の廃止の検討及びICT等の新技術の活用を推進していく。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 26 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-06-02
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	みんなの里山整備活動推進事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	地域の暮らしに身近な森林		
	目的	災害に強い森林づくりとして、地域住民による暮らしに身近な森林整備の体制づくり。		
	内容	<p>緑の環境づくりや生活に密着した里山・竹林の再生のため自治会等の地域住民によるボランティア活動に対して補助金を交付しました。</p> <p>交付自治会数：28自治会(区)</p> <p>補助金交付金額：6,071,000円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	6,071,000円	みんなの里山整備活動推進事業補助金 28自治会(区)	
	計	6,071,000円		

	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	4,933	6,000	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	
	合計(A)	4,933	6,000	6,071	6,500	
事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人
		人件費	751	768	768	770
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	751	768	768	770	
	合計(A+B)	5,684	6,768	6,839	7,270	
市民1人当たりのコスト(円)		62	74	75	81	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	活動参加人数	里山・森林の再生のためボランティアに参加した人員	人	目標		1,500	1,500	1,500
				実績	1,289	1,023	1,023	
指標化できない成果		達成		68.2%	68.2%			

方向	充実	課題及び改善案	身近な森林とそれを支える社会づくりのため、さらに取り組みを広げて行く必要がある。
-----------	-----------	----------------	--

整理番号 293 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県 民税市町交付金事業	決算書頁 255
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 26 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-06-03
	基本事業	② 木材の利用促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	伊賀の森っこ育成推進事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市内小中学生		
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める。		
	内容	1学級あたり10万円を上限として、森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。 16団体 2,391,952円		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		2,391,952円	伊賀の森っこ育成推進事業補助金
		計	2,391,952円	

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	国県支出金	2,597	3,500	2,392	3,500	みえ森と緑の県民税市町交付金 2,391,952円(申請額)
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	2,597	3,500	2,392	3,500	
人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,126	1,152	1,152	1,154	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
小計(B)	1,126	1,152	1,152	1,154			
合計(A+B)	3,723	4,652	3,544	4,654			
市民1人当たりのコスト(円)		41	51	39	52		

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金申請団体数	当該補助金の申請団体数	団体	目標		35	35
			実績	16	19	16
指標化できない成果		達成		54.2%	45.7%	

方向	継続	課題及び改善案	平成26年度から始まった制度であるため、今後の申請状況等を鑑み、より効果の高い補助金制度に見直しを行う必要がある。
----	----	---------	---

整理番号
294 -

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県
民税市町交付金事業

決算書頁
255

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 26 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-06-04
	基本事業	② 木材の利用促進	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	地域の森と緑のつながり支援事業	担当部署 産業振興部農林振興課	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	住民自治協議会等																		
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める。																		
	内容	1回あたり5万円を上限として、世代間交流などによる森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。 6団体 300,000円																		
		三重大研究委託 500,000円 イベントにおいて、木育と森林・林業についてのPR活動を行った。																		
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>300,000円</td> <td colspan="2">地域の森と緑のつながり支援事業補助金</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>500,000円</td> <td colspan="2">三重大研究委託</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>800,000円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要		負担金、補助及び交付金	300,000円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金		委託料	500,000円	三重大研究委託		計	800,000円		
	経費	金額	摘要																	
	負担金、補助及び交付金	300,000円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金																	
	委託料	500,000円	三重大研究委託																	
計	800,000円																			

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	390	1,197	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	390	1,197	800	975		
人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,126	1,152	1,152	1,154	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,126	1,152	1,152	1,154		
合計(A+B)	1,516	2,349	1,952	2,129			
市民1人当たりのコスト(円)			17	26	22	24	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	補助金申請団体数	当該補助金の申請団体数	団体	目標		10	10	8
				実績	6	6	6	
指標化できない成果			達成		60.0%	60.0%		

方向	継続	課題及び改善案	より多くの地域で活用いただけるよう、改めて各地域にPRしたい。
----	----	---------	---------------------------------

整理番号 295 -	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県 民税市町交付金事業	決算書頁 255
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 28 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-06-06
	基本事業	② 木材の利用促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
	事務事業名	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	評価責任者・連絡先	課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	未利用間伐材搬出者		
	目的	未利用間伐材利用を促進して林地残材の減少を図り、森林所有者等による森林整備につなげる。		
	内容	発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明材を、市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者に買い取ってもらうために必要な搬出及び運搬に要する経費の一部を助成しました。 間伐材等由来の木質バイオマス証明材:1t当たり 2,500円 搬出量:1553.2t		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	3,882,925円	未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金	
	計	3,882,925円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費		国県支出金	3,578	7,500	3,883	5,000	みえ森と緑の県民税市町交付金 3,882,925円(申請額)
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	3,578	7,500	3,883	5,000	
人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,126	1,152	1,152	1,154	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人	
		小計(B)	1,126	1,152	1,152	1,154	
	合計(A+B)	4,704	8,652	5,035	6,154		
	市民1人当たりのコスト(円)	51	95	55	68		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	搬出量	補助対象となった未利用間伐材の搬出量	t	目標		2,000	3,000	2,000
				実績	874	1,062	1,553	
指標化できない成果			達成		53.1%	51.8%		

方向	充実	課題及び改善案	制度内容や申請手続きを十分に周知するためホームページへの掲載や説明会を実施する。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 28 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-06-07
	基本事業	② 木材の利用促進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	森のやすらぎ空間整備事業	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民が木とふれあい、やすらげる空間を創出する。										
	目的	木の薫るやすらぎの街づくりのため、伊賀市産木材を利用し街中にやすらげる空間をつくる。										
	内容	<p>事業実施主体(青空ネット伊賀)が利用頻度が高いと思われる農産物直売所を選定し、市内の高校生(白鳳高校工芸部)が木製パンフレットラックを開発することに対する助成を行いました。</p> <p>木製パンフレットラック開発に伴う原材料費・需用費等について一定の範囲内で助成しました。</p> <p>事業実施主体:青空ネット伊賀(青空市推進協議会)</p> <p>箇所:3箇所(農産直売所木製パンフレットラック開発)</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>577,867円</td> <td>森のやすらぎ空間整備事業補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>577,867円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	577,867円	森のやすらぎ空間整備事業補助金	計	577,867円		
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	577,867円	森のやすらぎ空間整備事業補助金										
計	577,867円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																					
		直接事業費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国県支出金</td><td>1,500</td><td>700</td><td>578</td><td>700</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計(A)</td><td>1,500</td><td>700</td><td>578</td><td>700</td></tr> </table>	国県支出金	1,500	700		578	700	地方債	0	0			その他	0	0			一般財源	0	0			合計(A)	1,500	700	578
国県支出金	1,500	700	578	700																								
地方債	0	0																										
その他	0	0																										
一般財源	0	0																										
合計(A)	1,500	700	578	700																								
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人																						
	臨時・嘱託・再雇用職員	人件費	751	768	768	770																						
		業務量	人	人	人	人																						
	小計(B)	751	768	768	770																							
合計(A+B)	2,251	1,468	1,346	1,470																								
市民1人当たりのコスト(円)		25	17	15	17																							

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	整備箇所数	森のやすらぎ空間を整備した箇所数	箇所	目標		10	3	3
				実績	10	11	3	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 人に安らぎを与えるなど森林が持つ多面的機能を市民の方に周知し、森林整備の重要性を認識してもらふこと及び、伊賀産材を使用するなどして木製品を高校生と共同で開発し、森を育む社会づくりを進めるため事業の継続を行う。
-----------	-----------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県 民税市町交付金事業	決算書頁
297 -		255

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 26 年度～令和 2 年度	01-06-02-02-06-09
	基本事業 ②	木材の利用促進	担当部署	部・課名等 産業振興部農林振興課
事務事業名	親子ではじめる木育推進事業			評価責任者・連絡先 課長 小林 康志 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	伊賀市に住む幼児																												
	目的	幼児期から木のぬくもりに触れる機会をあたえることで、「木育」のきっかけを作る。																												
	内容	<p>健やかな子どもの成長と地球環境の維持に役立つ適切な木材利用推進を図るため、「木育」のきっかけとして本事業を行いました。</p> <p>・出生届提出時、保健師による1歳6ヶ月児の健診と3歳児の健診にあわせて、親子ともに木のぬくもりを共有できる物として地域材の木製のスプーンもしくは、子ども用の箸をプレゼントしました。</p> <p>出生届提出時 (木製フォトフレーム) 1歳6ヶ月児健診 (木製スプーン) 3歳児健診 (木製子ども用箸)</p> <p>※ 平成30年度より「親子ではじめる木育推進事業」に事業名を変更し継続事業として実施。</p>																												
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>290,400円</td> <td>伊賀産材木製フォトフレーム 240本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,316,700円</td> <td>伊賀産材木製スプーン 630本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>715,000円</td> <td>地域産材木製子ども用箸 650膳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,719円</td> <td>送付用封筒</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,851円</td> <td>ラベルシール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>770円</td> <td>フォトフレーム郵送料(レターパック)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>郵便用切手</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,329,670円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	290,400円	伊賀産材木製フォトフレーム 240本		1,316,700円	伊賀産材木製スプーン 630本		715,000円	地域産材木製子ども用箸 650膳		5,719円	送付用封筒	役務費	1,851円	ラベルシール		770円	フォトフレーム郵送料(レターパック)			郵便用切手	計	2,329,670円			
経費	金額	摘要																												
需用費	290,400円	伊賀産材木製フォトフレーム 240本																												
	1,316,700円	伊賀産材木製スプーン 630本																												
	715,000円	地域産材木製子ども用箸 650膳																												
	5,719円	送付用封筒																												
役務費	1,851円	ラベルシール																												
	770円	フォトフレーム郵送料(レターパック)																												
		郵便用切手																												
計	2,329,670円																													

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	2,964	2,711	
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	0	0				
	合計(A)	2,964	2,711	2,330	2,624		
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	751	768	768	770	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	751	768	768	770		
	合計(A+B)	3,715	3,479	3,098	3,394		
	市民1人当たりのコスト(円)	41	38	34	38		

指標	指標名	指標の説明	単位	年度			
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
木育の推進	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
				指標化できない成果	達成		

方向	継続	課題及び改善案	「木育」は森を育む人づくりの基礎であり、継続して行っていく必要がある。
----	----	---------	-------------------------------------

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	332 商工業活動を盛んにする	平成 16 年度~令和 2 年度	01-07-01-02-01-01
	基本事業	① 商工業活性化支援事業	担当	部・課名等
	事務事業名	商工振興経費	部署	産業振興部商工労働課
				評価責任者・連絡先 課長 中矢 裕丈 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関係団体及び事業者																					
	目的	伊賀市の商工業の振興・発展のため、関係団体や事業者に対し支援を行う。																					
	内容	<p>上野商工会議所及び伊賀市商工会等の関係団体や事業者に対して、商工業の育成と発展を図ることを目的に、それらが実施する事業に対し補助金を交付しました。</p> <p>日本政策金融公庫経営改善貸付制度の設備資金利用者への利子補給補助や小規模事業資金金融制度の資金利用者に対し、三重県信用保証協会へ支払った保証料の補助を行いました。</p> <p>地域の特性を活かした産品づくりや情報発信等の取り組みを進めるために設立された「伊賀ブランド推進協議会」の取り組みを支援し、伊賀ブランドの普及啓発、販路拡大に取り組みました。</p> <p>【主な補助事業】 中小企業相談業務負担金(上野商工会議所)、中小企業振興事業資金利子補給補助金、小規模事業資金金融制度保証料補助金、起業・事業承継促進事業補助金、伊賀ブランド推進事業費補助金等</p>																					
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>219,954円</td> <td>旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>35,320円</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>150,000円</td> <td>商業後継者育成事業委託料(委託先:上野商工会議所)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>873,430円</td> <td>事業所情報発信支援サイト利用料ほか11件</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>49,177,237円</td> <td>中小企業相談業務負担金 ほか11件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50,455,941円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	219,954円	旅費	需用費	35,320円	消耗品費	委託料	150,000円	商業後継者育成事業委託料(委託先:上野商工会議所)	使用料及び賃借料	873,430円	事業所情報発信支援サイト利用料ほか11件	負担金、補助及び交付金	49,177,237円	中小企業相談業務負担金 ほか11件	計	50,455,941円	
経費	金額	摘要																					
旅費	219,954円	旅費																					
需用費	35,320円	消耗品費																					
委託料	150,000円	商業後継者育成事業委託料(委託先:上野商工会議所)																					
使用料及び賃借料	873,430円	事業所情報発信支援サイト利用料ほか11件																					
負担金、補助及び交付金	49,177,237円	中小企業相談業務負担金 ほか11件																					
計	50,455,941円																						

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	1,650	4,250	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	2,400	0	0	0		
	一般財源	48,819	51,047	48,111	50,085		
	合計(A)	52,869	55,297	50,456	53,085		
	人件費	正規職員	業務量 0.90 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	6,751	7,674	7,674	7,691	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	6,751	7,674	7,674	7,691	
		合計(A+B)	59,620	62,971	58,130	60,776	
		市民1人当たりのコスト(円)	645	687	635	672	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	商工会議所・商工会会員数	商工会議所・商工会会員数	企業	目標		2,250	2,250	2,250
				実績	2,118	2,098	2,160	
指標化できない成果			達成		93.2%	96.0%		

方向	継続	課題及び改善案	<p>上野商工会議所や伊賀市商工会等、関係団体とともに、中小商工業者の育成支援を行う。</p> <p>また、起業支援などの各種補助制度についても、適宜、社会情勢等を踏まえた見直しを図っていく。</p>
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費	決算書頁
299 - 0		255

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-02-01-03
	基本事業	② 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当部署	部・課名等 産業振興部商工労働課
事務事業名	地場産業振興事業		評価責任者・連絡先 課長 中矢 裕文 0595-22-9669	

事務事業の概要	対象	特産品生産者、物産振興団体		
	目的	地域物産のPRを行い、販売実績の向上により、業績安定及び地域の雇用増を図る。		
	内容	<p>・伊賀焼振興協同組合に伊賀焼伝統産業会館を指定管理として委託しました。伊賀焼伝統産業会館では、陶器市などのイベントの他、年間を通じて陶芸教室を開催するなど、伊賀焼の普及に努めました。</p> <p>・地場産業の振興を図るため、伊賀市物産協会へじばさんまつりのほか、県内外の観光・物産展の出展等、地場産振興事業を委託しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	伊賀焼伝統産業会館指定管理料	4,227,000円	伊賀焼振興協同組合	
	伊賀伝統伝承会館修繕料	178,200円	消防設備不良箇所修繕	
	補修・改修工事請負費	2,415,960円	伊賀焼伝統産業会館セキュリティ設備工事・伊賀焼伝統産業会館屋外階段修繕工事	
	地場産業振興事業委託料	800,000円	じばさんまつりほか	
	伝統的工芸品産業振興補助金	560,000円	三重県組紐協同組合・伊賀焼振興協同組合	
	伝統的工芸品産業振興協会負担金	50,000円	(財)伝統的工芸品産業振興協会	
	計	8,231,160円		

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	8,867	8,271	8,231	6,352
		合計(A)	8,867	8,271	8,231	6,352
人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.45 人	0.45 人	0.45 人
		人件費	4,501	3,454	3,454	3,461
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	4,501	3,454	3,454	3,461	
合計(A+B)	13,368	11,725	11,685	9,813		
市民1人当たりのコスト(円)		145	128	128	109	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
指標	物産展・催事の売上高	物産展等での売上高	千円	目標	3,800	5,000	5,000
				実績	4,295	5,448	2,060
指標化できない成果	物産展が要因となった顧客数及び売上	達成		143.4%	41.2%		

方向	改善	課題及び改善案	物産展の当日の天候の影響で売上げが低かった。天候に関係なく購買していただけるような取組みを検討する必要がある。
----	----	---------	---

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大企業)02企業立地促進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大企業-中事業
	施策	341 地域の特性を活かした新たな産業を創出する	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-02-02-01
	基本事業	① 企業立地促進事業	担当部署	部・課名等 産業振興部商工労働課
	事務事業名	企業立地促進経費	評価責任者・連絡先	課長 中矢 裕丈 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	伊賀市に新規立地もしくは増設した企業		
	目的	企業の立地を促進し、地域雇用の拡大を図る。		
	内容	伊賀市工場誘致条例に規定する奨励措置により、民間遊休地等への企業誘致並びに既存施設での増設等について支援しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	45,180円	企業訪問等職員旅費	
	需用費	143,684円	消耗品費	
	使用料及び賃借料	4,490円	有料道路通行料、駐車場借上料	
	負担金、補助及び交付金	89,522,200円	三重県TLO特別会員負担金 300,000円 用地取得助成金(3件) 19,182,500円 立地奨励金(13件) 67,759,700円 雇用促進奨励金(3件、19名) 2,280,000円	
	計	89,715,554円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	122,175	90,383	89,716	109,388	
		合計(A)	122,175	90,383	89,716	109,388	
	人件費	正規職員	業務量 0.70 人	0.70 人	0.70 人	0.70 人	
			人件費 5,251	5,372	5,372	5,384	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	5,251	5,372	5,372	5,384	
		合計(A+B)	127,426	95,755	95,088	114,772	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,379	1,045	1,038	1,268	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			33
	雇用促進奨励金の対象人数	伊賀市工場誘致条例に規定する雇用促進奨励措置の適用人数	人	実績 58	31	19	
	指標化できない成果		達成		93.9%	86.3%	

方向	継続	課題及び改善案	市税の増収や若者の雇用拡大につながるよう、積極的な情報提供等により企業誘致を進める。そのためにも民間遊休地を含め誘致に適した用地の確保が必要である。
----	----	---------	--

整理番号 301 -	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)03中心市街地等商店街活性化事業	決算書頁 259
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	332 商工業活動を盛んにする	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-02-03-01
	基本事業	① 商工業活性化支援事業	担当部署	部・課名等 産業振興部商工労働課
事務事業名	中心市街地等商店街活性化事業		評価責任者・連絡先	課長 中矢 裕丈 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	中心市街地の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等																													
	目的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地における歩行者等の通行量を増加させ、にぎわい回復を目指します。																													
	内容	<p>〇各商店街等が実施するにぎわい創出に繋がる事業に対し支援を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 城下町の灯り事業 灯りの城下町・城下町バルによる商店街の活性化、市街地店舗の集客支援 (来場者数:約8,000人) 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業 店主の持つ専門知識を伝えることによる商店街(店主)の魅力向上と誘客による活性化 参加(受講)者数:223人、開催店舗数:18事業所(21講座) 銀座商店街賑わい創出事業 銀座七夕まつり、クリスマス、初えびす等のイベント開催による年間を通じた商店街の賑わい創出 上野中町商店会活性化事業 中町祭り(来場者数:約370人)等イベント開催による商店街の活性化及び先進地視察先による商店街の活性化の方向性の明確化。 灯りの芭蕉路事業 灯りをテーマにしたイベントの開催による商店会の活性化 (来場者数:約1,000人) 																													
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金</td> <td>1,175,318円</td> <td>城下町の灯り事業</td> <td>250,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>まちゼミ開催事業</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>銀座商店街賑わい創出事業</td> <td>450,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>上野中町商店会活性化事業</td> <td>75,318円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>灯りの芭蕉路事業</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,175,318円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		補助金	1,175,318円	城下町の灯り事業	250,000円			まちゼミ開催事業	300,000円			銀座商店街賑わい創出事業	450,000円			上野中町商店会活性化事業	75,318円			灯りの芭蕉路事業	100,000円	計	1,175,318円				
経費	金額	摘要																													
補助金	1,175,318円	城下町の灯り事業	250,000円																												
		まちゼミ開催事業	300,000円																												
		銀座商店街賑わい創出事業	450,000円																												
		上野中町商店会活性化事業	75,318円																												
		灯りの芭蕉路事業	100,000円																												
計	1,175,318円																														

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 参考にR2年度当初予算は、ふるさと応援基金繰入金1,300
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	1,300	
			一般財源	1,429	1,550	1,175	1,850	
	合計(A)	1,429	1,550	1,175	3,150			
	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
			人件費	2,626	2,686	2,686	2,692	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,626	2,686	2,686	2,692			
合計(A+B)	4,055	4,236	3,861	5,842				
市民1人当たりのコスト(円)			44	47	43	65		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	歩行者通行量	中心市街地における歩行者、自転車の通行量	人	目標		4,450	4,525
				実績	5,003	4,055	5,269
指標化できない成果			達成		91.1%	116.4%	

方向	継続	課題及び改善案	中心市街地のにぎわい創出のために必要な事業であるため、今後も継続して実施して行く。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	721 健全な財政運営	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-02-04-01
	基本事業	② 公有資産の有効活用	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交流促進施設維持管理経費	産業振興部商工労働課	課長 中矢 裕文 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	道の駅あやま利用者		
	目的	道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る。		
	内容	<p>阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理を行うため、阿山物産振興協同組合へ指定管理を行いました。</p> <p>【指定管理内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設の提供を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費 委託料 負担金、補助及び交付金	1,298,000円 3,700,000円 70,000円	阿山交流促進施設自動ドア修繕 阿山交流促進施設指定管理料 中部ブロック「道の駅」連絡会会費 50,000円 全国「道の駅」連絡会会費 20,000円	
	計	5,068,000円		

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0		0
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,175	5,104	5,068	4,147		
	合計(A)	4,175	5,104	5,068	4,147		
人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	
		人件費	1,501	1,305	1,305	1,308	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,501	1,305	1,305	1,308		
	合計(A+B)	5,676	6,409	6,373	5,455		
	市民1人当たりのコスト(円)	62	70	70	61		

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設利用者数	施設全体の利用者数(推計値) ※物産コーナー利用者×4人	人	目標		240,000	240,000
			実績	250,200	235,524	222,976
指標化できない成果		達成		98.1%	92.9%	

方向	継続	課題及び改善案	近隣の集客施設との連携を深めるとともに、周辺施設との機能的一体的な管理手法等の検討を進める。
----	----	---------	--

整理番号 303 -	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)05産学官連携研究開発拠点運営経費	決算書頁 259
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	341 地域の特性を活かした新たな産業を創出する	平成 21 年度～令和 2 年度	01-07-01-02-05-01
	基本事業	② 産学官連携新産業創出事業	担当部署	部・課名等 産業振興部商工労働課
事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費		評価責任者・連絡先 課長 中矢 裕丈 0595-22-9669	

事務事業の概要	対象	伊賀地域で起業を考えている個人及び2次起業を考えている法人		
	目的	地域資源の活用による地域産業の活性化と新産業の創出		
	内容	<p>○市内外事業者等11社との共同研究・技術相談を実施したほか、理科教育振興のための出前授業実践など、地域産業の活性化とともに次世代の育成に取り組みました。</p> <p>○小学生を対象としたこども大学を年2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。 ・第20回:参加人数58名(例年年2回開催であるが、コロナウイルス感染症拡大懸念のため3月開催は中止となった)</p> <p>○創業・起業等の相談・訪問を約200件行いました。</p> <p>○インキュベーション室への新規入居が2件あり、インキュベーションマネージャーによる経営アドバイスが随時行われています。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	使用料及び賃借料	984,000円	産学官連携研究開発拠点駐車場賃借料	
	負担金、補助及び交付金	16,733,784円	産学官連携研究開発拠点運営補助金	
	計	17,717,784円		

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		事業費	直接事業費	0	0	
	国県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	19,097	19,883	17,718	18,099	
	合計(A)	19,097	19,883	17,718	18,099	
	人件費	1,501	2,763	2,763	2,769	
	正規職員	0.20 人	0.36 人	0.36 人	0.36 人	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人	
	小計(B)	1,501	2,763	2,763	2,769	
	合計(A+B)	20,598	22,646	20,481	20,868	
	市民1人当たりのコスト(円)	223	248	224	231	

指標	指標名	指標の説明	単位	年度			
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標		12	12
実績	共同研究の成立数	件	10	9	3		
達成	指標化できない成果			75.0%	25.0%		

方向	継続	課題及び改善案 市内企業等への取組内容の周知とともに、市民(特に次世代を担うこどもや若者たち)へのPR、啓発活動に力を入れる。 経費の抑制を図るとともに、当該施設における各種事業への参加者を増やし、施設利用の促進を図る。
----	----	--

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-01-01
	基本事業	① 地域ぐるみの観光誘客と情報発信	担当部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課
事務事業名	観光戦略経費		評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9670	

事務事業の概要	対象	市内、市外及び県外の観光客		
	目的	個人旅行に対応する、体験、交流メニューや、市内に滞在・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い、観光客の増加を図る。		
	内容	<p>・新たな試みとして、広く「伊賀を知り」、「伊賀を体験し」、「伊賀を思い出す」1週間となるよう「IGA NINJA WEEK in TOKYO」と題して、東京都内各所で伊賀にまつわるイベントコンテンツを集中的に開催し、伊賀市の情報発信、誘客促進、また、関係人口の創出に努めました。開催期間の最終は伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園で締めくくり、本格的な忍者ショーや伊賀の特産品の販売など忍者をテーマに伊賀市の観光・物産の発信を行いました。</p> <p>・DMO形成支援負担金としてDMOの体制構築やマーケティングプロモーション、DMO登録課題対応及び新規事業開発支援等に係る専門家派遣にかかる経費について支援しました。</p> <p>・各観光資源の開発・保存と観光客誘致促進による地域振興を図るため観光協会各支部事業を支援しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	690672円	観光キャンペーン等出張旅費	
	委託料	35,741,300円	観光誘客促進事業委託料 4,770,000円 観光案内所業務委託料 7,833,000円 観光振興事業委託料 7,701,000円 だんじり会館指定管理料 14,678,652円ほか	
	負担金、補助及び交付金	9,448,444円	DMO形成支援負担金 3,000,000円 観光協会支部事業補助金 2,301,576円 高虎サミット実行委員会負担金1,087,868円ほか	
	その他経費	6,124,956円	印刷製本費1,051,620円、積立金3,167,281円ほか	
	計	52,005,372円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	4,000	8,511	
	地方債	0	0		3,200		
	その他	7,017	42,441	33,255	37,442		
	一般財源	42,885	4,643	10,424	17,020		
	合計(A)	53,902	55,595	52,005	64,624		
	人件費	正規職員	業務量 1.72 人	2.22 人	3.96 人	4.83 人	
		人件費	12,902	17,037	30,390	37,148	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
	人件費						
	小計(B)	12,902	17,037	30,390	37,148		
	合計(A+B)	66,804	72,632	82,395	101,772		
	市民1人当たりのコスト(円)	723	793	899	1,124		

指標	指標名	指標の説明	単位	目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					メディア応報実績	各メディアで伊賀市内の観光資源が取り上げられた回数	件	実績
指標化できない成果	観光関連の経済効果		達成		122.0%	112.4%		

方向	継続	課題及び改善案	DMO法人が行うスマートフォンを活用したアンケート結果等から効果的なプロモーションを行い、選ばれる観光地経営を進めるほか、観光案内機能の充実を図ります。 また、DMO法人と連携し、観光客の受け入れ態勢の充実を図るとともに、忍びの里伊賀ならではのコンテンツやサービスを提供する忍者・観光ビジネスの地域プレイヤーの人材育成を進めていきます。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 23 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-01-03
	基本事業	① 地域ぐるみの観光誘客と情報発信		
	事務事業名	観光大使活動事業経費	担当部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課
				評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	地域内外の観光客		
	目的	多様な情報発信に取り組むことにより、効果的に地域の魅力を伝達する。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での観光イベントにおいて、観光大使である「いが☆グリオ」「山本真凜」に出演を依頼し、イベントを盛り上げていただいた。 ・観光大使に名刺と伊賀の観光情報を送付し、伊賀市の情報発信に努めていただいています。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		需用費	30,544円	観光大使名刺代
		計	30,544円	

		項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	
			地方債	0	0	0	
			その他	0	0	31	
			一般財源	154	132	0	
			合計(A)	154	132	31	0
	人件費	正規職員	業務量	0.05 人	0.07 人	0.09 人	人
			人件費	376	538	691	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	376	538	691	0	
合計(A+B)	530	670	722	0			
		市民1人当たりのコスト(円)	6	8	8	0	

指標	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		観光大使に関連した伊賀市の情報発信回数	観光大使に関連した伊賀市の情報発信回数	回	目標		3	3	2
					実績	3	6	3	
	指標化できない成果	いが☆グリオ実行委員会が直接受託したゆるキャラショーなどの集客数		達成		200.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 様々な情報発信の機会を捉え、観光大使を活用した伊賀市のシティプロモーションを推進していきます。また、みえの国観光大使との連携などで事業効果を向上させていきます。
-----------	-----------	---

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-01-04
	基本事業	① 地域ぐるみの観光誘客と情報発信	担当	部・課名等
	事務事業名	観光情報等発信経費	部署	総務部秘書課
				評価責任者・連絡先 課長 濱村 昭 0595-22-9600

事務事業の概要	対象	国内・外の観光客、食材扱い業者		
	目的	伊賀市の観光地や特産品などの情報を広く発信し、観光客増加、特産品の市外への販路を拡大する。		
	内容	<p>トップセールスによる誘客及び「伊賀市」「伊賀産(いがもの)」のPR活動</p> <p>1. 観光誘客のためのPR活動 「伊賀流忍者」「伊賀上野城」「俳聖松尾芭蕉翁生誕の地」のPR ・首都圏(上野恩賜公園)における「伊賀上野NINJAフェスタ」への誘客活動 ・伊賀流忍者のPR(日本忍者協議会、忍びの里伊賀甲賀忍者協議会、三重大学伊賀連携フィールド) ・テレビやラジオへの出演</p> <p>2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路拡大のためのPR活動 「伊賀牛」「伊賀米」「伊賀酒」「伊賀焼」など伊賀の特産品のPR ・首都圏における食材フェア・交流会でのトップセールス ・市外イベントや市外・国外からの表敬訪問者、全国大会等出場者等への記念品の配布</p> <p>3. 地域振興のためのトップセールス ・企業、省庁訪問</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	647,979円	観光誘客PR(東京、大阪ほか 計11件) 301,781円 伊賀産の販路拡大等PR(東京、大阪 計2件) 47,924円 地域振興(東京、大阪、埼玉 計9件) 298,274円	
	需用費	706,821円	消耗品費(記念品等購入) 706,821円	
	役務費	13,628円	手数料 12,238円 通信運搬費 1,390円	
	使用料及び賃借料	1,950円	駐車場借上料 1,950円	
	計	1,370,378円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0			
		その他	0	0			
		一般財源	1,197	1,430	1,370	1,454	
		合計(A)	1,197	1,430	1,370	1,454	
	人件費	正規職員	業務量 0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
		人件費	151	154	154	154	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	151	154	154	154	
		合計(A+B)	1,348	1,584	1,524	1,608	
		市民1人当たりのコスト(円)	15	18	17	18	

指標	指標名	指標の説明	単位	目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					実績	34	37	46
	指標化できない成果		達成		123.3%	131.4%		

方向	継続	課題及び改善案	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、トップセールス等公務日程が大きく変更している状況である。今後、感染症の収束状況に注視しながら、スケジュール調整を行う必要がある。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-小-業
	311	観光客を呼び込み、もてなす	平成 28 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-01-05
	基本事業	② 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課
事務事業名	着地型観光推進事業経費		評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9670	

事務事業の概要	対象	地域資源、観光商品化、観光客を受け入れようとする市民(団体)																			
	目的	地域資源の観光商品化、観光客を受け入れる組織の育成																			
	内容	<p>・地域全体で観光客を受け入れる態勢づくりのため、9月21日～11月24日まで、着地型観光「伊賀ぶらり体験博覧会いがぶら2019」を実施しました。観光事業者だけでなく、商業者、農業者、住民自治協議会やNPO団体など、観光業と直接関係のなかった事業者(団体)にも、おもてなしプログラムを考案いただき、ガイドブック及びWEBサイトに掲載し、観光メニューとして売り出しました。</p> <p>【プログラム数:120個 参加者数:2,200人(伊賀市内59%、三重県内27%、県外14%)】</p> <p>・今年度、初めての取組みとして未来を担う子供たちや若い親子にも伊賀の魅力を感じてもらえるよう7月20日から8月18日まで「キッズいがぶら」を開催しました。</p> <p>【プログラム数:24個 参加者数:534人(伊賀市内27%、三重県内20%、県外2%、不明51%)】</p> <p>・「伊賀上野城下町のおひなさん」とコラボし、2月1日～3月3日まで、「ひなぶら」を開催しました。</p> <p>【プログラム数:20個 参加者数:238人(伊賀市内47%、三重県内34%、県外12%、不明7%)】</p> <p>・SNS活用プロモーション事業として、テレビの情報番組やWEB情報サイト、外国人向けのSNSサイトなど多様なメディアを活用した情報発信を行いました。</p> <p>・伊賀市の魅力を体験を切り口に伝え、旅行商品造成に繋げるため、パンフレットを作成しました。</p>																			
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務補助員保険料</td> <td>537,093円</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>事務補助員賃金</td> <td>3,345,660円</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,476,650円</td> <td>SNS活用プロモーション事業委託料 2,080,000円 パンフレット制作業務委託料 386,650円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>5,774,000円</td> <td>いがぶら実行委員会負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,133,403円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事務補助員保険料	537,093円	2人	事務補助員賃金	3,345,660円	2人	委託料	2,476,650円	SNS活用プロモーション事業委託料 2,080,000円 パンフレット制作業務委託料 386,650円	負担金、補助及び交付金	5,774,000円	いがぶら実行委員会負担金	計	12,133,403円			
経費	金額	摘要																			
事務補助員保険料	537,093円	2人																			
事務補助員賃金	3,345,660円	2人																			
委託料	2,476,650円	SNS活用プロモーション事業委託料 2,080,000円 パンフレット制作業務委託料 386,650円																			
負担金、補助及び交付金	5,774,000円	いがぶら実行委員会負担金																			
計	12,133,403円																				

	項目	H30年度決算		R1年度当初予算		R1年度決算		R2年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	4,621		6,473		6,067		2,650	【国庫支出金】 ・地方創生推進交付金 6,067千円
		地方債	0		0					
		その他	0		0					
		一般財源	4,636		6,474		6,066		2,650	
		合計(A)	9,257		12,947		12,133		5,300	
事業費	人件費	正規職員	1.10	人	0.89	人	0.80	人	0.68	人
		業務量								
		人件費	8,252		6,830		6,140		5,230	
		臨時・嘱託・再雇用職員		人		人		人		人
		業務量								
人件費										
	小計(B)	8,252		6,830		6,140		5,230		
	合計(A+B)	17,509		19,777		18,273		10,530		
	市民1人当たりのコスト(円)	190		216		200		117		

指標名	指標の説明	単位	年度			
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域資源の発掘件数	体験プログラムとして掲載した件数	件	目標	120	120	20
			実績	149	127	164
指標化できない成果	「いがぶら」をきっかけにリピーターとなった顧客数及び売上		達成	105.8%	136.7%	

方向	継続	課題及び改善案 新たなコンテンツやサービスを観光商品として提供ならびに情報発信するツールとして、これまで実施してきた着地型観光おもてなし体験プログラム「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」をバージョンアップし、地域プレイヤーが年間を通じて高い集客力・収益力が見込める新たな事業・サービスをより多く創出する環境をつくり、稼げる観光地経営を目指します。
----	----	---

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 27 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-01-06
	基本事業	① 地域ぐるみの観光誘客と情報発信	担当部署	部・課名等 産業振興部観光戦略課
事務事業名	外国人観光客誘客事業	評価責任者・連絡先	課長 川部 千佳 0595-22-9670	

事務事業の概要	対象	外国人観光客		
	目的	主に「忍者」をテーマにした情報発信を行い、海外からの誘客を図るとともに、看板設置など外国人観光客の受け入れ態勢を整備する。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客誘客のため、旅行社等との商談会への出展や多言語観光パンフレットやノベルティの製作などを(一社)伊賀上野観光協会へ委託しました。 伊賀市観光公式サイト「伊賀ぶらり旅」の多言語化を実施し、外国人観光客への情報発信強化を行いました。 関西圏インバウンドプロモーション事業として、訪日中の外国人観光客の伊賀への誘客を促進するため、関西圏で活躍する通訳案内士を対象としたファミトリップを実施しました。また、外国人観光客の受け入れ態勢強化としてアドバイザー業務を委託しました。 JAL・三重県等と連携し、忍びの里伊賀創生プロジェクト事業として本物の忍者体験をテーマにした誘客事業を進めました。 外国人観光客が頻りに訪れる、観光案内所、上野市駅、だんじり会館に、公衆Wi-Fiを継続して設置し、利便性を図りました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	通信運搬費	196,200円	Wi-Fi利用料	
	委託料	4,870,700円	外国人観光客誘客促進事業委託料	
	負担金、補助及び交付金	200,000円	東海地区外国人観光客誘致促進協議会負担金	
	計	5,266,900円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	3,764	3,101	2,435	
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	4,159	3,498	2,832	2,060		
	合計(A)	7,923	6,599	5,267	3,922		
人件費	正規職員	業務量	0.80 人	0.60 人	0.62 人	0.88 人	
		人件費	6,001	4,605	4,758	6,769	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	6,001	4,605	4,758	6,769		
合計(A+B)	13,924	11,204	10,025	10,691			
市民1人当たりのコスト(円)		151	123	110	119		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	外国人観光客入込客数	外国人観光客の施設(伊賀流忍者博物館)の入館者	人	目標		29,000	29,000	—
				実績	29,000	28,686	22,340	
指標化できない成果	観光関連の経済効果		達成		98.9%	77.0%		

方向	継続	課題及び改善案	<p>アジアからの観光客は増加しているが、欧米豪をターゲットとした旅マエでの情報発信に課題があります。また、旅ナカでの外国人観光客への情報発信、誘客活動が課題です。</p> <p>このため、訪日中の外国人観光客に伊賀市の観光情報を提供し、誘客を促すため、外国人観光客が多く集まり、また伊賀市にアクセスしやすい京都、大阪においてプロモーションを行います。また、訪日外国人観光客が多く閲覧する日本情報ポータルサイト等でのインバウンド向けウェブプロモーションを行っていきます。</p>
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費	決算書頁
309 - 0		259

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	311	観光客を呼び込み、もてなす	平成 30 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-01-07
	基本事業	② 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	忍者市プロジェクト事業		産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	市内、市外及び県外の観光客		
	目的	「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、受け入れ態勢の充実を図る。		
	内容	<p>・忍者市宣言に則り、広く忍者市を発信するため、忍者市プロジェクト業務委託として、次の事業を実施しました。</p> <p>①ターゲット特化型プロモーション業務委託 3,240,000円 福利厚生会員に向けた観光情報発信として福利厚生会報誌への伊賀の観光情報の掲載や会員ウェブページへの掲載等を実施</p> <p>②ネット媒体情報発信事業 1,936,000円 訪日外国人観光客が多く閲覧する日本情報ポータルサイトでの広告掲出などインバウンド向けウェブプロモーションを実施</p> <p>・忍者体験施設設立地検討調査業務を委託し、市民ワークショップや事業者へのサウンディングなどを経て設置候補地の比較検討・決定を行いました。 5,418,600円</p> <p>・「伊賀忍者・甲賀忍者」の日本遺産認定を活用するため、伊賀市・甲賀市、両市の観光協会で構成する忍びの里伊賀甲賀忍者協議会に参画し、人材育成事業としてガイド育成講座の実施、普及啓発事業としてモニターツアーを実施しました。また、公開活用事業として両市で統一したデザインによる観光案内看板や誘導看板の整備を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	5,850円	忍者体験施設設立地検討ワークショップに係る託児派遣謝礼	
	旅費	204,584円	出張旅費	
	需用費	10,800円		
	委託料	10,594,600円	忍者市プロジェクト委託料 5,176,000円 (仮称)伊賀市忍者体験施設等整備事業委託料 5,418,600円	
	使用料及び賃借料	720円	駐車場借上料	
	負担金、補助及び交付金	3,500,000円	忍びの里伊賀甲賀忍者協議会負担金 3,500,000円	
		200,000円	日本忍者協議会負担金 200,000円、	
	計	14,516,554円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	3,205	13,467	5,297	21,569	
			地方債	0	9,700			
			その他	0	5,618	2,400		
			一般財源	7,528	2,195	6,820	23,585	
	合計(A)	10,733	30,980	14,517	45,154			
	人件費	正規職員	業務量	0.85 人	1.22 人	1.23 人	0.69 人	
			人件費	6,376	9,363	9,440	5,307	
			臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人	
			業務量					
人件費								
小計(B)	6,376	9,363	9,440	5,307				
合計(A+B)	17,109	40,343	23,957	50,461				
市民1人当たりのコスト(円)			186	441	262	558		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	観光消費額	伊賀地域の観光客の消費単価(宿泊・日帰りの平均)	円	目標	10,805	11,237	11,686
				実績	10,390	11,304	12,169
	指標化できない成果		達成		104.6%	108.3%	

方向	継続	課題及び改善案
		<p>「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、受け入れ態勢の充実を図ることで地域産業の活性化、地域コミュニティの復活につなげ、交流人口の増加、移住者の増加、市民の定住意識の向上といった好循環を生み出し、地域の再生を実現したいと考えています。</p> <p>このため、忍者を体感できる施設を整備、活用することで、利用者の満足度向上や周遊拡大、滞在時間増加による消費額拡大を図り、観光まちづくりを進めます。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-02-01
	基本事業	② 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光施設維持管理事業	伊賀支所振興課	課長 前川 一幸 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	観光客																																									
	目的	観光施設の維持管理により、観光客が気持ちよく利用できる環境づくりを行う。																																									
	内容	<p>観光施設の維持管理(草刈、休憩所等の管理、トイレ清掃・浄化槽点検)業務の委託を行いました。</p> <p>観光施設維持管理業務委託料内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余野公園・奥余野森林公園管理業務委託 (委託先:余野公園管理協力会) ・霊山周辺施設の維持管理業務委託 (委託先:霊山保勝会) ・白藤滝周辺施設の維持管理業務委託 (委託先:白藤滝保勝会) ・道路公園管理業務委託 (委託先:出後区、千戸区、畑村区) ・猿蓑塚施設維持管理業務委託 (委託先:上阿波区) ・ふるさと公園維持管理業務委託 (委託先:青山老人クラブ連合会) ・青山高原山頂小屋維持管理委託 (委託先:(公社)伊賀市シルバー人材センター) ・桜山公園維持管理委託 (委託先:桜山公園管理委員会) ・尼ヶ岳トイレ清掃委託 (委託先:高尾住民自治協議会) ・兼好塚維持管理委託 (委託先:種生区) 																																									
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>1,348,950円</td> <td>消耗品費</td> <td>116,587円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>燃料費</td> <td>62,239円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>光熱水費</td> <td>664,321円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>修繕料</td> <td>505,803円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>669,274円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>9,692,112円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>208,368円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>509,999円</td> <td>草刈機(伊賀)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>12,428,703円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		需用費	1,348,950円	消耗品費	116,587円			燃料費	62,239円			光熱水費	664,321円			修繕料	505,803円	役務費	669,274円			委託料	9,692,112円			使用料及び賃借料	208,368円			備品購入費	509,999円	草刈機(伊賀)		計	12,428,703円				
経費	金額	摘要																																									
需用費	1,348,950円	消耗品費	116,587円																																								
		燃料費	62,239円																																								
		光熱水費	664,321円																																								
		修繕料	505,803円																																								
役務費	669,274円																																										
委託料	9,692,112円																																										
使用料及び賃借料	208,368円																																										
備品購入費	509,999円	草刈機(伊賀)																																									
計	12,428,703円																																										

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																																	
		直接事業費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>国県支出金</td> <td>2,914</td> <td>2,469</td> <td>2,469</td> <td>2,469</td> <td rowspan="5">【国県支出金】 県支出金 商工費委託金 ふるさと公園維持管理委託金</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,616</td> <td>9,956</td> <td>9,960</td> <td>9,674</td> </tr> <tr> <td>合計(A)</td> <td>12,530</td> <td>12,425</td> <td>12,429</td> <td>12,143</td> </tr> </table>	国県支出金	2,914	2,469		2,469	2,469	【国県支出金】 県支出金 商工費委託金 ふるさと公園維持管理委託金	地方債	0	0			その他	0	0			一般財源	9,616	9,956	9,960	9,674	合計(A)	12,530	12,425	12,429	12,143										
国県支出金	2,914	2,469	2,469	2,469	【国県支出金】 県支出金 商工費委託金 ふるさと公園維持管理委託金																																			
地方債	0	0																																						
その他	0	0																																						
一般財源	9,616	9,956	9,960	9,674																																				
合計(A)	12,530	12,425	12,429	12,143																																				
人件費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>正規職員</td> <td>業務量 0.56 人</td> <td>0.60 人</td> <td>0.58 人</td> <td>0.59 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費 4,201</td> <td>4,605</td> <td>4,451</td> <td>4,538</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨時・嘱託・再雇用職員</td> <td>業務量 人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計(B)</td> <td>4,201</td> <td>4,605</td> <td>4,451</td> <td>4,538</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(A+B)</td> <td>16,731</td> <td>17,030</td> <td>16,880</td> <td>16,681</td> <td></td> </tr> </table>	正規職員	業務量 0.56 人	0.60 人	0.58 人	0.59 人			人件費 4,201	4,605	4,451	4,538		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人			人件費					小計(B)	4,201	4,605	4,451	4,538		合計(A+B)	16,731	17,030	16,880	16,681				
正規職員	業務量 0.56 人	0.60 人	0.58 人	0.59 人																																				
	人件費 4,201	4,605	4,451	4,538																																				
臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人																																				
	人件費																																							
小計(B)	4,201	4,605	4,451	4,538																																				
合計(A+B)	16,731	17,030	16,880	16,681																																				
市民1人当たりのコスト(円)		181	186	185	185																																			

指標名	指標の説明	単位	目標	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託者との運営協議回数	各施設において、委託者と施設運営について協議を行った回数	回		4		4	4	4
指標化できない成果	施設的环境整備	達成				100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	現在以上に、住民主体の利活用を活発に高める必要がある。
----	----	---------	-----------------------------

整理番号		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業				決算書頁		
311 -						261		
基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業				
	311	観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度~令和 2 年度	01-07-01-03-02-02				
	基本事業 ②	地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先			
事務事業名	東海自然歩道管理経費		伊賀支所振興課	課長 前川 一幸 0595-45-9111				
事務事業の概要	対象	東海自然歩道						
	目的	東海自然歩道を保全する。						
	内容	県から委託を受けた東海自然歩道区間のパトロールと除草作業について、当該地区に委託を行いました。 ・パトロール業務委託 委託区間53.6km ・清掃草刈業務委託 草刈実施区間25.2km×2巡 ・便所清掃業務 3箇所(浄化槽管理及びし尿汲取りについては業者委託)						
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要				
	委託料	1,528,493円	東海自然歩道維持管理業務委託料					
			伊賀工区 595,890円					
			阿山工区 114,943円					
			大山田工区 466,470円					
			青山工区 351,190円					
	手数料	470,250円	新大仏寺し尿汲取り業務等					
	その他事務経費	88,185円	消耗品費、燃料費、光熱水費					
	計	2,086,928円						
全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	1,382	1,319	1,319	1,127	【国県支出金】 県支出金 商工費委託金 東海自然歩道管理委託金
			地方債	0	0			
			その他	0	0			
			一般財源	506	634	768	757	
		合計(A)	1,888	1,953	2,087	1,884		
	人件費	正規職員	業務量	0.69 人	0.73 人	0.72 人	0.70 人	
			人件費	5,176	5,603	5,526	5,384	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	5,176	5,603	5,526	5,384		
	合計(A+B)	7,064	7,556	7,613	7,268			
	市民1人当たりのコスト(円)	77	83	84	81			
指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	パトロール回数	各地区において、巡回パトロールを行った件数	件	目標	4	4	4	
				実績	4	4		
	指標化できない成果	事故防止措置により無事故となった件数	達成		100.0%	100.0%		
方向	改善	課題及び改善案 パトロール、草刈業務などの業務委託は必要であるが、修繕など市が行えない業務についての改善策を県に要望する必要があります。						

360

整理番号
312 -

決算書頁
261

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	311 観光客を呼び込み、もてなす	平成 16 年度～令和 2 年度	01-07-01-03-02-03
	基本事業	② 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくり	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	ふるさとの森公園管理費	阿山支所振興課	課長 奥 幸子 0595-43-1543	

事務事業の概要	対象	ふるさとの森公園の利用者。		
	目的	施設利用者のニーズに沿った施設管理を行う。		
	内容	<p>・伊賀市による直営管理を行いました。 業務内容:阿山ふるさとの森公園管理条例及び規則に基づく管理業務 施設の管理に関する業務(忍者文化協会に管理運営委託) ・施設の使用許可及び利用料金に関する業務 ・施設の建物及び設備の維持管理に関する業務</p> <p>阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における官民連携事業可能性調査 ・周辺施設と一体利用する公園の整備及び運営を、官民連携手法で実施することを検討するための、実現可能性を図ることを目的とした調査業務委託</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	4,248,616円	管理用消耗品、施設光熱水費等	
	役員費	226,582円	通信運搬費等	
	委託料	10,786,030円	施設管理運営、設備保守等、調査分析・計画策定委託料	
	使用料及び賃借料	687,594円	機械器具使用料等	
	計	15,948,822円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	4,752	
	地方債	0	0				
	その他	7,456	7,927	5,959	7,374		
	一般財源	2,273	7,996	5,590	11,836		
	合計(A)	9,729	20,675	15,949	19,210		
人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
		人件費	2,626	2,686	2,686	2,692	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,626	2,686	2,686	2,692		
	合計(A+B)	12,355	23,361	18,635	21,902		
	市民1人当たりのコスト(円)	134	255	204	242		

指標	指標名	指標の説明	単位	年度			
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	観光客入込数	施設を利用した観光客数	人	目標	7,000	6,000	5,000
				実績	6,103	5,249	4,486
	指標化できない成果	施設の環境整備	達成		74.9%	74.7%	

方向 民間活力導入

課題及び改善案
・令和元年度に、増収と維持管理経費削減を図るため、公民連携による民間活力導入の可能性調査を行った。
その結果、可能性があることが判明したため、公民連携による民営化を進める。

整理番号 313 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)02道路維持費(大事業)01道路維持経費	決算書頁 267
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 26 年度～令和 2 年度	01-08-02-02-01-01
	基本事業	③ 道路維持修繕事業	担当部署	部・課名等 建設部道路河川課
事務事業名	道路維持経費		評価責任者・連絡先 課長 山本 学 0595-22-9725	

事務事業の概要	対象	道路		
	目的	道路舗装の異常または損傷を早期に見るとともに、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。		
	内容	<p>道路を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。</p> <p>管理延長 L=約2,300km</p> <p>平成31(令和元)年度は、408箇所の道路修繕等を行いました。 また、市道の草刈業務委託及び雪氷委託を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	70,263,842円	消耗品費、燃料費、光熱水費 修繕料(道路小修繕等408件)	13,365,907円 56,897,935円
	役務費、使用料及び賃借料 委託料	1,561,725円 92,362,075円	手数料、自動車借上料等 道路維持管理業務委託80件 草刈業務委託78件 街路樹管理業務委託26件 融雪剤散布等業務委託53件 その他業務委託15件	18,278,299円 53,678,150円 14,959,810円 2,113,650円 3,332,166円
	工事請負費 原材料費	10,248,740円 23,013,289円	舗装補修6件、側溝・横断管等補修1件等 融雪剤1,560袋、生コン504m ³ 、切込砕石749.83m ³ 等	
	計	197,449,671円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	61,000	23,725	64,396	
			一般財源	182,384	143,145	173,725	123,881	
	合計(A)	182,384	204,145	197,450	188,277			
	人件費	正規職員	業務量	10.26 人	10.20 人	10.25 人	10.25 人	
			人件費	76,961	78,275	78,659	78,833	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		76,961	78,275	78,659	78,833			
合計(A+B)	259,345	282,420	276,109	267,110				
市民1人当たりのコスト(円)			2,805	3,081	3,012	2,950		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算に対する執行率	最終予算に対する執行率	%	目標	100	100	100
				実績	86.5	97	96
指標化できない成果			達成	97.0%	95.5%		

方向	継続	課題及び改善案 道路施設の経年劣化や地元要望の多様化に加えて労材経費の高騰などにより、前年度並みに維持管理業務を履行することが、今後も困難になることが懸念されるため、業務プロセスの改善や工夫を行う必要があります。
----	----	---

整理番号	314 -
------	-------

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)01臨時地方道整備事業

決算書頁	267
------	-----

基本情報	コード	421	名称	道路ネットワークによって移動がしやすい	事業期間	平成 16 年度～令和 2 年度	会計-款-項-目-大事業-中事業	01-08-02-03-01-01	
	施策	①	基本事業	道路改良事業	担当	部・課名等	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先	課長 山本 学
	事務事業名			臨時地方道整備事業	部署			0595-22-9725	

事務事業の概要	対象	市道利用者											
	目的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する。											
	内容	道路を通行者が安全に安心して通行できるよう、舗装改修工事を10箇所実施しました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>386,041円</td> <td>消耗品費、燃料費</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>34,384,900円</td> <td>市道桐ヶ丘7丁目8号線舗装改修工事 5,968,600円 市道きじが台棚田線舗装修繕工事 8,177,400円 市道外山波敷野線舗装修繕工事 2,917,200円 市道諏訪新居線舗装改修工事 4,356,000円 市道座頭谷東湯舟線舗装改修工事 5,797,000円 市道花之木古山神戸線舗装改修工事 2,743,400円 その他舗装改修工事4件 4,425,300円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34,770,941円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	386,041円	消耗品費、燃料費	工事請負費	34,384,900円	市道桐ヶ丘7丁目8号線舗装改修工事 5,968,600円 市道きじが台棚田線舗装修繕工事 8,177,400円 市道外山波敷野線舗装修繕工事 2,917,200円 市道諏訪新居線舗装改修工事 4,356,000円 市道座頭谷東湯舟線舗装改修工事 5,797,000円 市道花之木古山神戸線舗装改修工事 2,743,400円 その他舗装改修工事4件 4,425,300円	計	34,770,941円
経費	金額	摘要											
需用費	386,041円	消耗品費、燃料費											
工事請負費	34,384,900円	市道桐ヶ丘7丁目8号線舗装改修工事 5,968,600円 市道きじが台棚田線舗装修繕工事 8,177,400円 市道外山波敷野線舗装修繕工事 2,917,200円 市道諏訪新居線舗装改修工事 4,356,000円 市道座頭谷東湯舟線舗装改修工事 5,797,000円 市道花之木古山神戸線舗装改修工事 2,743,400円 その他舗装改修工事4件 4,425,300円											
計	34,770,941円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	0	0	0	
地方債	16,700	31,600	31,200	42,200			
その他	0	0	0	0			
一般財源	1,980	3,422	3,571	3,925			
合計(A)	18,680	35,022	34,771	46,125			
人件費	正規職員	業務量 0.54 人	0.54 人	0.55 人	0.55 人		
	人件費	4,051	4,144	4,221	4,231		
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人		
	人件費						
小計(B)	4,051	4,144	4,221	4,231			
合計(A+B)	22,731	39,166	38,992	50,356			
市民1人当たりのコスト(円)	246	428	426	556			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	市道改良率	最終予算に対する執行率	%	目標		100	100	100
				実績	26.66	129	99	
指標化できない成果			達成		128.5%	98.8%		

方向	継続	課題及び改善案	本市の道路については、アスファルト舗装の劣化が進行しているため、交通量や通学路等の現場条件を基に、緊急度や優先順位を付けて整備を図る必要があります。
----	----	---------	--

整理番号 315 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備総合交付金事業	決算書頁 267
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 18 年度～令和 元 年度	01-08-02-03-02-01
	基本事業	① 道路改良事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	佐那具千歳線道路改良事業	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市道佐那具千歳線																									
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。																									
	内容	<p>市道佐那具千歳線は、国道25号から市道千歳千戸線を経て、国道163号に至る広域幹線道路であり、名阪国道伊賀一之宮ICへのアクセス道路として位置付けされています。しかし、現在の道路状況は、幅員が非常に狭小(幅員2.5m)で、前方の見通しも非常に悪く、普通車同士の対向及び大型車両の通行が不可能であるため、安全かつ良好な交通に支障をきたしています。そのため、本路線の整備により、通過交通の円滑化と周辺施設である工業団地、JR佐那具駅及び病院等へのアクセス道路として、利便性の向上を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=950m、幅員W=7.0m</p> <p>平成31(令和元)年度は、道路舗装工事L=290m、案内標識移設工事N=1基、信号移設工事を実施しました。</p>																									
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>600,208円</td> <td>消耗品費、燃料費</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>64,800円</td> <td>システム等使用料</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>36,943,590円</td> <td>舗装工事 26,753,100円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>案内標識移設工事 781,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>信号移設工事 8,813,880円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他工事2件 595,610円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,608,598円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	600,208円	消耗品費、燃料費	使用料及び賃借料	64,800円	システム等使用料	工事請負費	36,943,590円	舗装工事 26,753,100円			案内標識移設工事 781,000円			信号移設工事 8,813,880円			その他工事2件 595,610円	計	37,608,598円			
経費	金額	摘要																									
需用費	600,208円	消耗品費、燃料費																									
使用料及び賃借料	64,800円	システム等使用料																									
工事請負費	36,943,590円	舗装工事 26,753,100円																									
		案内標識移設工事 781,000円																									
		信号移設工事 8,813,880円																									
		その他工事2件 595,610円																									
計	37,608,598円																										

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算		R1年度当初予算		R1年度決算		R2年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件	金額	人件	金額	人件	金額	人件	
事業費	直接事業費	4,312		21,500		18,472				・社会資本整備総合交付金50% ・道路橋りょう整備事業
	地方債	4,000		21,000		18,100				
	その他	0		0		0				
	一般財源	544		1,200		1,037				
	合計(A)	8,856		43,700		37,609		0		
人件費	正規職員	0.30	人	0.30	人	0.30	人		人	
	業務量									
	人件費	2,251		2,303		2,303			0	
	臨時・嘱託・再雇用職員		人		人		人		人	
業務量										
人件費										
小計(B)	2,251		2,303		2,303		0			
合計(A+B)	11,107		46,003		39,912		0			
市民1人当たりのコスト(円)		121		502		436		0		

指標	指標名	指標の説明	単位	年度				
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業の進捗率		道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		83	100	
				実績	81	89	100	
指標化できない成果			達成		107.2%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 22 年度～令和 2 年度	01-08-02-03-02-02
	基本事業	① 道路改良事業	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	ゆめが丘摺見線道路改良事業	建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	ゆめが丘摺見線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>市道四十九ゆめが丘線を起点とし、市道喰代比自岐下川原線(広域農道)につながり、ゆめが丘住宅地と摺見、青山地区を結ぶ幹線道路を新設整備します。</p> <p>事業概要 延長L=1,400m、幅員W=12.0m</p> <p>平成31(令和元)年度は、歩道舗装工事L=440m、境界杭設置N=64本を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	9,931円	消耗品費	
	委託料	993,152円	境界杭設置業務委託2件	
	工事請負費	8,516,200円	歩道舗装新設工事	
	計	9,519,283円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	8,973	3,000	
	地方債	8,400	2,900	4,500	2,600		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	986	200	264	191		
	合計(A)	18,359	6,100	9,519	5,291		
	人件費	正規職員	業務量 0.49 人	0.49 人	0.49 人	0.49 人	
		人件費	3,676	3,761	3,761	3,769	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,676	3,761	3,761	3,769		
	合計(A+B)	22,035	9,861	13,280	9,060		
	市民1人当たりのコスト(円)	239	108	145	101		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標		97	98
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	実績 96	97.6	99	
	指標化できない成果		達成		100.6%	101.0%	

方向	継続	課題及び改善案	沿道利用計画に基づき、関係課と調整の上、事業進捗を図る必要があります。
----	----	---------	-------------------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備総合交付金事業	決算書頁	267
317 -			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	421	道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 26 年度～令和 2 年度	01-08-02-03-02-04
	基本事業	① 道路改良事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>国道163号線と市道荒木木興線(緑ヶ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m</p> <p>平成31(令和元)年度は、仮橋・仮設道路工L=180m、既設橋梁上部工撤去工事N=1式、道路改良工事L=80m(片側)、道路改良工事L=120m(片側)を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費、賃金	1,679,215円	事務補助員共済費、賃金	
	需用費	466,227円	消耗品費	
	役務費	97,451円	通信運搬費、手数料	
	委託料	517,000円	水質検査業務委託外1件	
	使用料及び賃借料	492,420円	土地建物借上料4件 440,200円	
	工事請負費	49,524,500円	有料道路通行料、システム等使用料 52,220円	
			仮橋設置・仮橋舗装工事2件 24,207,700円	
			旧橋上部工撤去工事 9,930,000円	
			道路改良工事2件 13,202,200円	
			その他工事10件 2,184,600円	
	計	52,776,813円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	52,473	41,156	24,982	45,000	
			地方債	48,800	41,700	26,300	44,420	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	6,004	2,856	1,495	1,541	
	合計(A)	107,277	85,712	52,777	90,961			
	人件費	正規職員	業務量	0.63人	0.63人	0.63人	0.63人	
			人件費	4,726	4,835	4,835	4,846	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量					
			人件費					
小計(B)		4,726	4,835	4,835	4,846			
合計(A+B)	112,003	90,547	57,612	95,807				
市民1人当たりのコスト(円)			1,212	988	629	1,058		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	77	89	88
				実績	63	78.6	80
指標化できない成果			達成	102.1%	90.0%		

方向	継続	課題及び改善案	国庫補助金の申請額に対する交付率が低いため、事業の進捗に影響が懸念されるが、消防署の緊急出動ルートとしても早期完成が望まれているため、コスト縮減に努め計画的に事業進捗を図る必要があります。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 30 年度～令和 元 年度	01-08-02-03-02-04
	基本事業	① 道路改良事業	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業(線越明許費分)	担当部署 建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>国道163号線と市道荒木興線(緑ヶ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m</p> <p>平成31(令和元)年度は、道路改良工事L=80m(片側)、道路舗装工事L=130m(片側)を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	329,668円	消耗品費、燃料費	
	役務費	3,480円	通信運搬費	
	使用料及び賃借料	9,610円	有料道路通行料	
	工事請負費	19,971,600円	道路改良工事 12,284,040円	
			舗装工事 6,682,080円	
			区画線工事 1,005,480円	
	計	20,314,358円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・社会資本整備総合交付金50% ・道路橋りょう整備事業	
		直接事業費	国県支出金	14,278	9,986	9,986		
			地方債	11,000	5,200	5,200		
			その他	0	0	0		
			一般財源	684	5,128	5,128		
		合計(A)	25,962	20,314	20,314	0		
	人件費	正規職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
小計(B)		0	0	0	0			
合計(A+B)	25,962	20,314	20,314	0				
市民1人当たりのコスト(円)		281	222	222	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		77	89
				実績	63	78.6	80
指標化できない成果			達成		102.1%	90.0%	

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号 319 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備総合交付金事業	決算書頁 267
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 26 年度~令和 2 年度	01-08-02-03-02-05
	基本事業	① 道路改良事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業		建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	依那古友生線他1線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる舗装幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であり、事故が多発しています。対面通行が出来るような整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。</p> <p>事業概要 延長L=780m、幅員W=7.0m</p> <p>平成31(令和元)年度は、道路改良工事L=194m、道路舗装工事L=194m、用地測量業務L=400m、用地取得(8筆)A=1600mを実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費、需用費	238,166円	消耗品費、燃料費	
	役務費	48,947円	通信運搬費、手数料	
	委託料	3,985,300円	用地測量業務委託	3,209,800円
	工事請負費	34,707,100円	その他業務委託4件	775,500円
			道路改良工事2件	22,572,060円
			舗装工事2件	11,407,940円
			その他工事3件	727,100円
	使用料及び賃借料、原材料費	98,280円	有料道路通行料、資材費	
	公有財産購入費	3,478,000円	用地取得費5件	
	補償、補填及び賠償金	23,485円	立竹木補償2件	
	計	42,579,278円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	25,429	21,781	20,947	25,000		・社会資本整備総合交付金50% ・道路橋りょう整備事業
			地方債	23,700	21,200	20,500	24,400		
			その他	0	0	0	0		
			一般財源	3,051	1,281	1,132	1,383		
	合計(A)	52,180	44,262	42,579	50,783				
	人件費	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人		
			人件費	4,126	4,221	4,221	4,231		
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費						
小計(B)			4,126	4,221	4,221	4,231			
合計(A+B)	56,306	48,483	46,800	55,014					
市民1人当たりのコスト(円)			609	529	511	608			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	51	60	72
				実績	30	46	60
指標化できない成果			達成	90.2%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	用地買収が必要となることから、事業計画に合わせ地権者交渉を円滑に進め、計画的に事業推進を図る必要があります。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 26 年度～令和 2 年度	01-08-02-03-02-07
	基本事業	③ 道路維持修繕事業	担当	部・課名等
	事務事業名	舗装修繕事業	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先 課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	二車線道路及び緊急輸送道路		
	目的	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に見見するとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。		
	内容	<p>市が管理する市道の中で、二車線道路及び緊急輸送道路において舗装の破損が著しい路線について、路面性状調査を実施し調査結果に基づき計画的に舗装修繕を行います。</p> <p>事業概要 延長L=2,500m</p> <p>平成31(令和元)年度は、舗装補修工事5路線、L=760mを実施しました。</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費	242,169円	消耗品費、燃料費	
	委託料	469,800円	土質調査業務委託	
	工事請負費	43,919,700円	市道西高倉西山線舗装修繕工事	13,701,600円
			市道阿保青山線舗装修繕工事	8,796,700円
			市道予野大滝線舗装修繕工事	8,501,900円
			市道水越予野線舗装修繕工事	8,409,500円
			市道上友田新堂線舗装修繕工事	4,510,000円
	計	44,631,669円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	15,400	18,925	
	地方債	14,400	18,400	18,400	7,200		
	その他	0	0	0	8,000		
	一般財源	1,694	1,125	4,037	456		
	合計(A)	31,494	38,450	44,632	30,656		
	人件費	正規職員	業務量 1.06 人	1.06 人	1.06 人	1.06 人	
		人件費	7,952	8,135	8,135	8,153	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	7,952	8,135	8,135	8,153	
	合計(A+B)	39,446	46,585	52,767	38,809		
	市民1人当たりのコスト(円)	427	509	576	429		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		40	45	48
				実績	35	40	47	
指標化できない成果			達成		100.0%	104.0%		

方向	継続	課題及び改善案 管内の幹線道路については、舗装路面の荒廃が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られます。緊急性により交通量の多い主要道路から修繕工事を実施し、安全に通行出来る様進捗を図る必要があります。
----	----	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備総合交付金事業	決算書頁
321 -		267

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 31 年度～令和 元 年度	01-08-02-03-02-10
	基本事業	① 道路改良事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	西明寺一之宮東條線道路改良事業		建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	西明寺一之宮東條線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する。		
	内容	<p>国道25号との交差点付近には、運送会社や部品製造工場、建設会社などが隣接しているため日中は大型車両の利用も多い道路であるため、朝夕のラッシュ時には右折待ちの車両により度々渋滞が発生しています。右折レーンの整備を行うことで渋滞緩和と利便性の向上を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=220m、幅員W=13.0m</p> <p>平成31(令和元)年度は、用地測量業務A=103㎡、用地買収(2筆)A=103㎡を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	31,546円	消耗品費	
	委託料	780,820円	用地測量調査業務委託外2件	
	原材料費	18,900円	資材費	
	公有財産購入費	947,600円	用地取得費1件	
	計	1,778,866円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金		2,500	815		
			地方債		2,700	0		
			その他		0	0		
			一般財源		150	964		
	合計(A)	0	5,350	1,779	0			
	人件費	正規職員	業務量	人	0.50	人	0.50	人
			人件費	0	3,837	3,837	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)	0	3,837	3,837	0				
合計(A+B)	0	9,187	5,616	0				
市民1人当たりのコスト(円)	0	101	62	0				

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標		12	
				実績		12	
指標化できない成果			達成		100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号 322 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)01社会資本整備総合交付金事業	決算書頁 269
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 24 年度～令和 2 年度	01-08-02-04-01-01
	基本事業	② 橋梁維持修繕事業	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市道に架かる全橋梁		
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める。		
	内容	<p>橋長15m以上の橋梁は273橋、15m未満の橋梁は1,275橋あり、本市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕に緊急を要する橋梁について、損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減及び安全・安心な道路空間の整備を図ります。</p> <p>平成31(令和元)年度は、橋梁点検業務N=298橋、橋梁補修詳細設計N=10橋、15.0m以上橋梁修繕工事N=7橋、15.0m未満橋梁修繕工事N=9橋を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費、賃金	1,831,561円	事務補助員共済費、賃金	
	旅費、需用費	330,165円	消耗品費、燃料費	
	委託料	54,696,400円	橋梁点検業務委託3件 38,328,400円 橋梁補修詳細設計業務委託 15,873,000円 その他業務委託3件 495,000円	
	工事請負費	41,383,840円	市道久米守田線子安橋橋梁修繕工事 9,381,900円 市道子ヶ谷線丸山橋橋梁修繕工事 10,151,900円 市道須原猿野線榎野橋橋梁修繕工事 4,252,600円 市道伊勢路中線薬師橋橋梁修繕工事 4,288,900円 その他橋梁修繕工事12件 13,308,540円	
	計	98,241,966円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・社会資本整備総合交付金55% ・道路橋りょう整備事業 ・公共施設等整備基金繰入金	
		直接事業費	国県支出金	45,021	57,357	52,816		87,450
			地方債	21,500	29,200	28,600		51,822
			その他	0	19,173	7,265		18,900
			一般財源	20,331	1,504	9,561		1,615
		合計(A)	86,852	107,234	98,242	159,787		
	人件費	正規職員	業務量	0.77 人	0.77 人	0.77 人		0.77 人
			人件費	5,776	5,909	5,909		5,923
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
	小計(B)	5,776	5,909	5,909	5,923			
	合計(A+B)	92,628	113,143	104,151	165,710			
	市民1人当たりのコスト(円)	1,002	1,235	1,137	1,830			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	48	59	64
				実績	40	49	59
指標化できない成果			達成	102.1%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 今後、老朽化する橋梁が急速に増加するため、安全・安心な道路空間を確保するため橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び修繕工事を実施する必要があります。
----	----	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 30 年度~令和 元 年度	01-08-02-04-01-01
	基本事業	② 橋梁維持修繕事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業(繰越明許費分)	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先 課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市道に架かる全橋梁		
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める。		
	内容	<p>橋長15m以上の橋梁は273橋、15m未満の橋梁は1,275橋あり、本市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕に緊急を要する橋梁について、損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減及び安全・安心な道路空間の整備を図ります。</p> <p>平成31(令和元)年度は、平橋橋梁修繕工事外3橋を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	4,400円		
	需用費	266,970円	消耗品費	
	委託料	2,671,920円	山神橋改修に伴う協議資料作成業務委託	
	工事請負費	17,061,120円	市道平北浦線平橋橋梁修繕工事	5,544,000円
			市道丸之内伊賀上野橋線女橋修繕工事	3,489,600円
			市道寺坂野中線寺坂橋梁修繕工事	4,719,520円
			市道旧国道25号線無名第3橋修繕工事	3,308,000円
	計	20,004,410円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・社会資本整備総合交付金55% ・道路橋りょう整備事業
			国県支出金	18,747	9,383	9,383		
			地方債	13,500	5,200	5,200		
			その他	0	0	0		
			一般財源	1,839	5,421	5,421		
	合計(A)	34,086	20,004	20,004	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.77 人	人	人	人	
			人件費	5,776	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		5,776	0	0	0			
合計(A+B)	39,862	20,004	20,004	0				
市民1人当たりのコスト(円)			432	219	219	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	48	59	
				実績	40	49	59
指標化できない成果			達成	102.1%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号 324 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)05交通安全施設整備事業費(大事業) 01交通安全施設維持修繕経費	決算書頁 269
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	421 道路ネットワークによって移動がしやすい	平成 26 年度～令和 2 年度	01-08-02-05-01-01
	基本事業	③ 道路維持修繕事業	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交通安全施設維持修繕経費	建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	交通安全施設		
	目的	市民を交通事故から守り、また、安全かつ円滑な交通の確保に資することを目的とした各種交通安全施設の維持管理を行う。		
	内容	カーブミラー及びガードレール、区画線等の交通安全施設の新設及び修繕を行います。 平成31(令和元)年度は、交通安全施設(カーブミラー・ガードレール・区画線等)の設置工事及び修繕工事を97箇所で行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	10,469,140円	消耗品費	126,360円
	工事請負費	4,376,140円	修繕料(防護柵4件、道路反射鏡26件、道路照明10件、区画線等33件)	10,342,780円
	原材料費	32,780円	防護柵5件、道路反射鏡9件、道路照明1件、区画線等9件	
	計	14,878,060円	資材費	

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	0	0	0	
	国県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	15,416	14,882	14,878	14,785	
	合計(A)	15,416	14,882	14,878	14,785	
事業費	正規職員	業務量	1.16 人	1.16 人	1.16 人	1.16 人
		人件費	8,702	8,902	8,902	8,922
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	8,702	8,902	8,902	8,922	
合計(A+B)	24,118	23,784	23,780	23,707		
市民1人当たりのコスト(円)		261	260	260	262	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算に対する執行率	最終予算に対する執行率	%	目標		100	100	100
				実績	83.9	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 交通安全と道路利用者の多様なニーズに対応するため、公安委員会等に助言と指導を仰ぎ、道路事故の抑止を図る必要があります。今後の交通安全施設修繕については、緊急度や優先順位の判断のもと効率的な整備を図る必要があります。
----	----	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)01 事務管理経費	決算書頁	271
325 -			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	211 災害などの危機に強くなる	平成 26 年度～令和 2 年度	01-08-03-02-01-01
	基本事業	⑤ 河川維持・改修事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務管理経費	建設部企画管理課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	内水による浸水被害箇所		
	目的	内水が起因する浸水被害の軽減		
	内容	<p>内水による浸水被害を軽減するために排水機や樋門、また、排水ポンプや排水ポンプ車を操作、点検します。</p> <p>令和元年度は、大戸川小田排水機外5件点検操作業務委託(点検:各施設月1回、台風に伴う操作:各施設1回)、排水ポンプ車操作及び点検業務(豪雨・台風に伴うポンプ操作:配備N=3回、木津川上流河川事務所との合同訓練外1回)、自家用電気工作物保守点検業務を行いました。また、浅子川及び朝屋地区の排水ポンプ施設に係る設備の改修・修繕工事を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,046,542円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	
	委託料	3,033,356円	排水機・樋門等点検操作委託料	1,526,300円
			排水ポンプ車操作・点検業務委託料	1,025,712円
			自家用電気工作物保守点検業務委託料	481,344円
	工事請負費	3,744,760円	浅子川内水排水機場修繕工事費	2,534,760円
			朝屋地区排水ポンプ施設操作盤改修工事	1,210,000円
	計	8,824,658円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	4,712	9,176	8,825	6,447	
	合計(A)	4,712	9,176	8,825	6,447			
	人件費	正規職員	業務量	1.17 人	1.17 人	1.17 人	1.17 人	
			人件費	8,777	8,979	8,979	8,999	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費					
小計(B)			8,777	8,979	8,979	8,999		
合計(A+B)	13,489	18,155	17,804	15,446				
市民1人当たりのコスト(円)			146	199	195	171		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	内水排水施設の整備率	内水排水対策に係る作業進捗(整備済箇所/計画箇所)	%	目標		100	100
				実績	100	100	100
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	今後、各施設において、経年劣化等によりポンプ施設の大規模な更新作業が発生してくることが考えられるが、適切な点検や小修繕を行い、施設の長寿命化を図っていく。
----	----	---------	---

整理番号 326 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川 管理経費	決算書頁 271
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	211	災害などの危機に強くなる	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-03-03-01-04
	基本事業	⑤	河川維持・改修事業	部・課名等	伊賀支所振興課
	事務事業名	河川維持経費	担当部署	伊賀支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 前川 一幸 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	伊賀支所管内の準用河川		
	目的	準用河川を維持管理し、環境を保全する。		
	内容	伊賀支所管内の準用河川において、河川環境を守り、自然災害や万が一の事故に備えるため、河川周辺の草刈りを地域集落へ委託しました。また、草刈りの燃料を支給しました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		燃料費	16,773円	準用河川草刈燃料費支給 (支給先:山出区)
		委託料	82,200円	準用河川井戸川草刈業務委託 (委託先:川東区)
		使用料及び賃借料	601,060円	機械器具借上料(道路河川課)
		計	700,033円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	91	101	700	101		
		合計(A)	91	101	700	101		
	人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
			人件費	751	768	768	770	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量					
			人件費					
		小計(B)	751	768	768	770		
		合計(A+B)	842	869	1,468	871		
		市民1人当たりのコスト(円)	10	10	17	10		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施率	実施面積/必要面積	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 定期的な草刈りを実施することが河川の環境を守るためには不可欠であり、今後も地域集落で草刈りを継続いただけるかが課題です。
----	----	---

整理番号 327 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)02準用河川改修事業	決算書頁 271
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	211 災害などの危機に強くなる	平成 26 年度～令和 2 年度	01-08-03-03-02-01
	基本事業	⑤ 河川維持・改修事業	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	臨時河川等整備事業	建設部道路河川課	課長 山本 学 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	河川		
	目的	降雨時における浸水被害を解消する。		
	内容	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。 平成31(令和元)年度は、河川浚渫工事5件と河川内の伐採業務1件を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	460,900円	修繕料2件	
	委託料	277,560円	吉野川伐採業務委託	
	工事請負費	6,385,170円	河内谷川浚渫工事	3,532,100円
			その他浚渫工事4件	2,853,070円
	計	7,123,630円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	3,400	
		その他	0	0	0	1,000	
		一般財源	10,379	7,730	7,124	9,961	
		合計(A)	10,379	7,730	7,124	14,361	
人件費	正規職員	業務量	0.62 人	0.62 人	0.62 人	0.62 人	
		人件費	4,651	4,758	4,758	4,769	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,651	4,758	4,758	4,769		
	合計(A+B)	15,030	12,488	11,882	19,130		
	市民1人当たりのコスト(円)	163	137	130	212		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	浚渫実施河川数	最終予算に対する執行率	箇所	目標		100	100	100
				実績	5	97	92	
指標化できない成果			達成		96.8%	92.2%		

方向	継続	課題及び改善案	準用河川や普通河川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されている河川が増加しているため、今後は国の起債事業などを活用し、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理を行う必要があります。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	322 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 22 年度～令和 2 年度	01-08-03-04-02-01
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	生産管理用道路整備事業	産業振興部農村整備課	課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者			
	目的	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。			
	内容	当道路は、川上ダムの周辺整備事業としてダムの湛水により林業施設に支障をきたす半島形状となる山間部に開設しており事業を推進するため測量設計業務委託、開設工事を行いました。 生産管理用道路 W=4.0m L=3,063m			
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要	
		生産管理用道路開設工事(VI期)	11,459,880円	H30年度繰越工事変更分 L=348m	(株)後出建材土木 市川建設(株)
	生産管理用道路開設工事(VII期)	48,450,600円			
	生産管理用道路付帯工事	299,160円		大型土のう土留工 N=21袋	(株)後出建材土木
	生産管理用道路排水施設工事	299,160円		路面排水工 U型コルゲート L=4.0m	(株)後出建材土木
	生産管理用道路一般構造物修正測量業務委託	1,998,000円		赤井測量設計(株)	
	生産管理用道路一般構造物修正詳細設計業務委託	2,840,400円		(株)共同技術コンサルタント	
	事務補助員賃金・保険料	783,272円		1名×5ヶ月分	
	その他の経費	517,584円		消耗品費等	
	計		66,648,056円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	0	0	0	0		川上ダム周辺整備事業基金繰入金
			地方債	0	0	0	0		
			その他	22,175	83,996	66,648	79,720		
			一般財源	0	0				
	合計(A)	22,175	83,996	66,648	79,720				
	人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.35 人	0.35 人		
			人件費	4,501	4,605	2,686	2,692		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		4,501	4,605	2,686	2,692				
合計(A+B)	26,676	88,601	69,334	82,412					
市民1人当たりのコスト(円)			289	967	757	910			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	整備進捗率	供用開始する林道の延長	%	目標		53	51	52
				実績	49	51	52	
指標化できない成果			達成		96.0%	102.0%		

方向	継続	課題及び改善案	ダム本体着工が行われ、当該林道の整備、進捗を図る必要があるが、現地の地形や地質状況、ダム事業反対者との用地交渉といった懸案事項があること。又基金の残金が残り僅かになっていることから、計画のとおり進捗が図れない事が懸念され計画路線の検討が必要となる。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業	決算書頁
329 -		273

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	322	森林や里山を大切にし、林業を元気にする	平成 22 年度～令和 元 年度	01-08-03-04-02-01
	基本事業	① 間伐等の森林施業の促進	担当部署	部・課名等
事務事業名	生産管理用道路整備事業(繰越事業)		産業振興部農村整備課	評価責任者・連絡先 課長 岩野庄司 0595-22-9718

事務事業の概要	対象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者		
	目的	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。		
	内容	当道路は、川上ダムの周辺整備事業としてダムの湛水により林業施設に支障をきたす半島形状となる山間部に開設しており事業を推進するため測量設計業務委託、開設工事を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	生産管理用道路様修正平面測量設計業務委託	1,641,600円	(有)アイアポロ測量	
	生産管理用道路概略設計業務委託	993,600円	(株)共同技術コンサルタント	
	生産管理用道路開設工事(Ⅵ期:1工区)	25,428,400円	L=274.9m (株)後出建材土木	
	計	28,063,600円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金		0		0
	地方債		0	0				
	その他		28,064	28,064				
	一般財源		0	0				
	合計(A)		0	28,064	28,064	0		
人件費	正規職員	業務量	人	0.10	人	0.10	人	人
		人件費	0	768	768	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	人	
		人件費						
	小計(B)		0	768	768	0	0	
	合計(A+B)		0	28,832	28,832	0	0	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	315	315	0	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			—
	指標化できない成果		達成		—	—	

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	411 適正な土地利用によりまちの魅力を高める	平成 31 年度～令和 2 年度	01-08-04-01-07-01
	基本事業	① コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	都市計画調査策定等事業	建設部都市計画課	課長 辻村 武臣 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	伊賀市都市マスタープランの策定を行う。		
	内容	<p>都市計画法第18条の2に基づき策定された伊賀市都市マスタープラン(平成22年9月策定)を見直します。都市マスタープランは概ね20年後の都市の将来像を見据えた、10年間の計画です。策定委員会、庁内調整会議を開催するとともに現行のマスタープランの評価、課題抽出を行いました。</p> <p>平成31年度実績 都市マスタープラン策定委員委嘱 19名 都市マスタープラン策定委員会の開催 開催回数 1回 開催日 令和元年8月27日(火) 出席委員数 19名</p> <p>都市マスタープラン庁内調整会議の開催 開催回数 1回 開催日 令和2年2月7日(金)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	108,000円	都市マスタープラン策定委員報酬	
	旅費	16,697円	都市マスタープラン策定委員旅費	
	需用費	29,795円	消耗品費	
			[参考] 土地利用条例取扱件数 378件	
	計	154,492円		

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		事業費	直接事業費	0	0		0
	国県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,607	8,238	154	6,435		
	合計(A)	4,607	8,238	154	6,435		
	人件費	正規職員	業務量 1.25 人	1.25 人	1.25 人	1.25 人	
		人件費	9,377	9,593	9,593	9,614	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	9,377	9,593	9,593	9,614		
	合計(A+B)	13,984	17,831	9,747	16,049		
	市民1人当たりのコスト(円)	152	195	107	178		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業進捗率			%	目標		50	100
					実績		40.0	
指標化できない成果			達成			80.0%		

方向	継続	課題及び改善案	他の計画との整合を図り、同じ方向で進める必要がある。
----	----	---------	----------------------------

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)12個人住宅耐震診断支援事業	決算書頁
331 -		277

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	412 だれもが安心な住まいで暮らせる	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-01-12-01
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化促進事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	個人住宅耐震診断支援事業	建設部住宅課	評価責任者・連絡先 課長 松永 知大 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	個人が所有する昭和56年5月31日以前に着工され、旧建築基準法で建設された、階数が3階以下の木造住宅								
	目的	地震に対する安全性を、客観的に認識できる。また、耐震補強工事費に関する情報が確認できる。								
	内容	市広報と共に市ホームページを中心に耐震診断の受診者を募集し、別に地区を設定して戸別訪問を実施して応募者を勧誘している。その結果、41戸の木造住宅の耐震診断を行い、地震に対する耐震性の有無と耐震補強工事に関する費用等の情報提供を行いました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,916,720円</td> <td>木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先:三重県木造住宅耐震促進協議会)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,916,720円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,916,720円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先:三重県木造住宅耐震促進協議会)	計	1,916,720円
経費	金額	摘要								
委託料	1,916,720円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先:三重県木造住宅耐震促進協議会)								
計	1,916,720円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	1,491	1,770	
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	500	590	480	590		
	合計(A)	1,991	2,360	1,917	2,360		
	人件費	正規職員	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		業務量					
		人件費	751	768	768	770	
		臨時・嘱託・再雇用職員					
		業務量					
		人件費					
		小計(B)	751	768	768	770	
		合計(A+B)	2,742	3,128	2,685	3,130	
		市民1人当たりのコスト(円)	30	35	30	35	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	耐震診断実施率	耐震診断件数/耐震診断目標件数	%	目標		100	100	100
				実績	110	86.0	82	
指標化できない成果			達成		86.0%	82.0%		

方向	継続	課題及び改善案	目標50戸に対し、実績41戸であったので、更なる周知啓発に努めて、実績値の向上を図ります。今年度も国費・県費が要望どおりに配分されていませんが、今後も予算の範囲内で最大の実施件数を目指します。
----	----	---------	--

整理番号 332 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)13高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	決算書頁 277
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	123 高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる	平成 16 年度～令和 元 年度	01-08-04-01-13-01
	基本事業	② 地域自立生活支援事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	建設部住宅課	課長 松永 知大 0595-22-9737	

事務事業の概要	対象	バリアフリー化された高齢者向けの民間賃貸住宅を必要としている高齢低所得世帯		
	目的	高齢者の快適な居住環境、安全で安心できる生活を実現する。		
	内容	伊賀市上野恵美須町「エルピスハウス伊賀」の入居高齢者の家賃補助を行い、高齢者が快適で安心できる居住環境の実現に役立てました。 (補助件数)平成31年度 4月 4名 5月～3月 3名		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		188,800円	高齢者向け優良賃貸住宅家賃補助金
		計	188,800円	

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	0	0	
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	701	494	189		
	合計(A)	701	494	189	0	
人件費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	人
		人件費	76	77	77	0
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	76	77	77	0	
	合計(A+B)	777	571	266	0	
市民1人当たりのコスト(円)		9	7	3	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	優良住宅利用率	補助件数/優良住宅室数	%	目標		100	100	
				実績	75.0	75.0	38	
指標化できない成果			達成		75.0%	37.5%		

方向	完了	課題及び改善案 平成26年10月で10年間の国庫補助が終了しましたが、激変緩和措置のため、市費による補助を平成28年度末まで100%継続し、平成29年度から平成31年度までの3ヶ年で段階的に減額し、本計画期間において事業を終了しました。
----	----	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)14住宅・建築物耐震改修等事業	決算書頁
333 -		277

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	412	だれもが安心な住まいで暮らせる	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-01-14-01
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化促進事業	担当部署	部・課名等
事務事業名	住宅・建築物耐震改修等事業		建設部住宅課	評価責任者・連絡先 課長 松永 知大 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	耐震診断の結果、巨大地震発生時に倒壊の可能性が高いと診断された木造建築物。高齢者・障がい者宅の家具。		
	目的	地震に対して倒壊または大破壊する住宅を減らし、宅内家具の転倒による2次災害等を防止する。また、大災害時の行政負担を軽減できる。		
	内容	<p>昭和56年5月31日以前の旧建築基準法で建築された木造住宅を対象とし、無料耐震診断での評点0.7未満の住宅を1.0以上に耐震改修に係る、設計費、改修費の補助を行うとともに、同時に施行するリフォーム工事についても補助を行いました。また、市内の高齢者、障がい者宅居室内の家具3台を金具で固定し、安心安全な居室の確保に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震補強設計事業 3戸 ・木造住宅耐震補強事業 2戸 ・リフォーム事業 2戸 ・災害時要援護者宅家具固定事業 4戸 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	91,692円	災害時要援護者宅家具固定事業にかかる固定金具等	
	負担金、補助及び交付金	3,459,000円	耐震補強設計事業費補助金 耐震補強事業費補助金	
	計	3,550,692円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	1,304	6,021	
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	634	2,764	1,320	2,426		
	合計(A)	1,938	8,785	3,551	6,986		
	人件費	正規職員	業務量 0.05人	0.05人	0.25人	0.25人	
		人件費	376	384	1,919	1,923	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
		人件費					
		小計(B)	376	384	1,919	1,923	
		合計(A+B)	2,314	9,169	5,470	8,909	
		市民1人当たりのコスト(円)	26	101	60	99	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	耐震補強実施件数/無料耐震診断で評点0.7未満の住宅	%	
				実績	6.9	6.9	7
	指標化できない成果			達成	97.2%	93.0%	

方向	継続	課題及び改善案	目標5件に対し実績2件であったが、国費及び県費の配分額が不足しており、執行予算額を確保できなかった。今後も限られた予算の中で最大限の補助を行い、安心安全な街づくりに寄与できるよう、耐震診断の受診者に対し補強工事についての補助制度の案内を丁寧に行いたい。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	412 だれもが安心な住まいで暮らせる	平成 30 年度～令和 2 年度	01-08-04-01-15-01
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化促進事業	担当	部・課名等
	事務事業名	ブロック塀等撤去費補助事業	部署	建設部住宅課
				評価責任者・連絡先 課長 松永 知大 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	道路に面した一定の高さを超え、倒壊の恐れがあるブロック塀		
	目的	地震等の災害から市民の生命・身体を守り、避難路等を確保するため、危険なブロック塀等の撤去を行う。		
	内容	ブロック塀等撤去費補助金交付要綱に基づき、撤去費用の補助金を交付しました。市広報や、ポステイング、ホームページなどにより周知を行い、23件で1,297,000円の補助を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	負担金、補助及び交付金		1,297,000円	ブロック塀等撤去費補助金
	計		1,297,000円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	253	750	
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	865	750	723	750		
	合計(A)	1,118	1,500	1,297	1,500		
人件費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.12 人	0.12 人	
		人件費	76	77	921	923	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	76	77	921	923		
	合計(A+B)	1,194	1,577	2,218	2,423		
	市民1人当たりのコスト(円)	13	18	25	27		

指標	指標名	指標の説明	単位	目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					実施率	撤去件数/申請件数	%	実績
	指標化できない成果		達成		77.2%	96	95.8%	

方向	継続	課題及び改善案	3年間の緊急対策事業として平成30年11月から始まった制度ですが、避難路や通学路が国の補助対象となることから、国費の確保及び制度の周知を図っていきたくと考えています。
----	----	---------	---

整理番号 335 - 1	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 277
-----------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	331 中心市街地の賑わいをつくる	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	① 街なみ環境整備事業・市街地整備推進事業	担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課
	事務事業名	市街地整備推進事業費		評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	まちめぐりの拠点・交流施設の利用を促進し、賑わいの拠点をづくりを行います。		
	内容	まちめぐりの拠点・交流施設として整備した国の登録有形文化財である武家屋敷「赤井家住宅」について、指定管理者制度により管理を行いました。(入館者数19,024人)また、管理物件である旧玉岡邸の維持管理を行いました。(草刈り年2回)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	赤井家住宅指定管理料	5,742,810円	指定管理者:公益財団法人伊賀市文化都市協会	
	玉岡邸草刈業務	47,851円	委託先:公益社団法人伊賀市シルバー人材センター	
	計	5,790,661円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0		
	地方債	0					
	その他	2,206	1,850	1,850	1,850		
	一般財源	3,673	4,152	3,941	4,691		
	合計(A)	5,879	6,002	5,791	6,541		
人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.55 人	0.50 人	
		人件費	4,501	4,605	4,221	3,846	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,501	4,605	4,221	3,846		
	合計(A+B)	10,380	10,607	10,012	10,387		
	市民1人当たりのコスト(円)	113	116	110	115		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	赤井家住宅利用	入館者数	人	目標		21,000	20,000	10,000
				実績		20,252	19,073	19,024
	指標化できない成果		達成		90.8%	95.1%		

方向	継続	課題及び改善案 赤井家住宅については引き続き指定管理者制度により管理を行う。新型コロナウイルス感染防止対策を行い利用促進に取り組んでいく。また、旧玉岡邸については市民や民間事業者の参画など有効な活用方法を検討していきたい。
----	----	--

整理番号 335 - 2	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 277
-----------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	411 適正な土地利用によりまちの魅力を高める	平成 20 年度～令和 2 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	③ 良好な景観形成の促進	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	市街地整備推進事業費	建設部都市計画課	課長 辻村 武臣 0595-22-9731	

事務事業の概要	対象	城下町重点風景区域内等における建築行為等		
	目的	伊賀市景観計画で定める基準に適合させる。		
	内容	建築行為等に対し、景観計画に基づいて行為の届出を求めるとともに、景観形成基準への適合審査を行い、必要に応じて景観アドバイザーの意見を求めながら景観の保全・形成を進めました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	42,000円	景観審議会委員報酬	
	謝礼	37,568円	景観アドバイザー会議謝礼	
	旅費	7,726円	景観審議会委員旅費	
	需用費	21,867円	消耗品費	
	会場借上料	1,000円	景観パネル展会場借上	
	計	110,161円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	145	251	110	226	
		合計(A)	145	251	110	226	
	人件費	正規職員	業務量 0.68 人	0.68 人	0.68 人	0.68 人	
		人件費	5,101	5,219	5,219	5,230	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	5,101	5,219	5,219	5,230	
		合計(A+B)	5,246	5,470	5,329	5,456	
		市民1人当たりのコスト(円)	57	60	59	61	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	適合率	届出行為の景観形成基準への適合率	%	目標		100	100	100
				実績	98	90	86	
指標化できない成果			達成		90.3%	85.5%		

方向	継続	課題及び改善案	<p>城下町風景をはじめとする景観の保全・形成の必要性に関する建築主等の理解が重要であり、市民啓発等の実施方法について検討が必要です。</p> <p>今後は、重点風景地区を有する3つの自治協議会会長との協議を経て、当該地域住民を対象に景観アドバイザーによる「歴史的町並みの保存」に関する講演開催等により、住民主体で景観を保全する機運を高めるように努めます。</p>
----	----	---------	--

整理番号 336 - 1	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 277
-----------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	331	中心市街地の賑わいをつくる	平成 20 年度～令和 2 年度	01-08-04-02-01-02
	基本事業 ①	街なみ環境整備事業・市街地整備推進事業	担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課
事務事業名	街なみ環境整備事業			評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	住みやすく歩きやすい住環境を整備することで回遊性の向上を図る		
	内容	社会資本総合整備計画に基づき、城下町の回遊性向上のため伊賀市中心市街地の都市基盤づくりを推進しました。街なみ環境整備事業として、まち巡り拠点施設成瀬平馬家長屋門の保存修理工事、来街者の利便性を向上させ街の魅力を増進することを目的とした、さまざま広場の整備工事、住環境整備として市道農人町八幡町線(中之立町通り)の道路美装化工事を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委員報酬	24,000円	6,000円×4人(成瀬平馬家長屋門保存改修検討委員会委員報酬)	
	成瀬平馬家長屋門保存修理工事監理業務委託料(出来高払)	381,520円	委託先:有限会社伊藤平左工門建築事務所	
	設計業務委託料	3,354,480円	委託先:有限会社伊藤平左工門建築事務所	
	ポケットパーク工事意図伝達等業務委託料	4,052,020円	委託者:新居千秋都市建築設計	
	市道農人町八幡町線道路美装化工事費	52,903,400円	受託者:日新舗装株式会社 L=236m	
	成瀬平馬家長屋門保存修理工事費(出来高払)	26,490,000円	受託者:株式会社瀧川寺社建築	
	上野東町ポケットパーク整備工事費	59,687,400円	受託者:山一建設株式会社	
	まちづくり協議会活動助成金	120,000円		
	その他	1,533,190円	旅費・消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料他	
	計	148,546,010円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 社会資本整備総合交付金 公共事業等債
			国庫支出金	10,467	127,654	80,157	41,984	
			地方債	0	119,500	58,100	37,700	
			その他	0				
			一般財源	22,816	17,716	10,289	10,503	
	合計(A)	33,283	264,870	148,546	90,187			
	人件費	正規職員	業務量	0.50 人	1.50 人	1.77 人	1.30 人	
			人件費	3,751	11,511	13,583	9,999	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費					
小計(B)			3,751	11,511	13,583	9,999		
合計(A+B)	37,034	276,381	162,129	100,186				
市民1人当たりのコスト(円)			401	3,015	1,769	1,107		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	まちなか回遊者数	歩行者自転車通行者数	人	目標		4,450	4,255
				実績	5,003	4,055	5,269
指標化できない成果			達成		91.1%	116.4%	

方向	継続	課題及び改善案 社会資本整備総合交付金の街なみ環境整備事業の計画期間内である令和3年度に事業が完了するよう計画的に進めていく。
----	----	--

整理番号 336 - 2	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 277
-----------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	331 中心市街地の賑わいをつくる	平成 28 年度～令和 2 年度	01-08-04-02-01-02
	基本事業	① 街なみ環境整備事業・市街地整備推進事業	担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課
	事務事業名	街なみ環境整備事業(繰越明許費分)	評価責任者・連絡先	課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	住みやすく歩きやすい住環境を整備することで回遊性の向上を図る		
	内容	社会資本総合整備計画に基づき、城下町の回遊性向上のため中心市街地の都市基盤づくりを推進しました。街なみ環境整備事業として、まち巡り拠点施設成瀬平馬家長屋門の保存修理工事を実施しました。また、うえのまち地区において無電柱化実施の可能性・課題等について調査を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	成瀬平馬家長屋門保存修理工事監理業務委託 無電柱化調査業務委託 消耗品費	644,000円 3,132,000円 234,685円	委託者:有限会社伊藤平左工門建築事務所 委託者:株式会社トーエネック	
	計	4,010,685円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	4,561	322	
	地方債	0		500			
	その他	0					
	一般財源	29,589	3,689	3,188			
	合計(A)	34,150	4,011	4,010	0		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.15 人	0.15 人	人	
		人件費	3,751	1,152	1,152	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,751	1,152	1,152	0		
	合計(A+B)	37,901	5,163	5,162	0		
	市民1人当たりのコスト(円)	410	57	57	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	まちなか回遊者数	歩行者自転車通行者数	人	目標		4,450	4,525	4,200
				実績	5,003	4,055	5,269	
	指標化できない成果		達成		91.1%	116.4%		

方向	継続	課題及び改善案 社会資本整備総合交付金の街なみ環境整備事業の計画期間内である令和3年度に事業が完了するよう計画的に進めていく。
----	----	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁
336 - 3		277

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	411 適正な土地利用によりまちの魅力を高める	平成 20 年度～令和 2 年度	01-08-04-02-01-02
	基本事業	③ 良好な景観形成の促進	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	街なみ環境整備事業	建設部都市計画課	課長 辻村 武臣 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	城下町重点風景地区内等において、建築行為等を行う建築主		
	目的	景観計画で定める重点風景区域における建築行為(修繕含む)等について、景観形成基準に適合させる。		
	内容	景観計画で定める重点風景地区において、景観まちづくりに寄与する建築行為等を行う建築主に対し、景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成しますが、本年度は該当がありませんでした。 ふるさと風景づくり助成金 交付件数0件、建築相談件数4件		
事業に要した主な経費など	経費		金額	摘要
	需用費		29,644円	消耗品費
		計	29,644円	

項目		H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
事業費	直接事業費	0	2,500	0	2,500	社会資本整備総合交付金
	国県支出金	0	2,500	0	2,500	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	2,500	0	2,500	
	一般財源	64	80	30	75	
合計(A)		64	5,080	30	5,075	
人件費	正規職員	業務量 1.18 人	1.18 人	1.18 人	1.18 人	
	人件費	8,852	9,056	9,056	9,076	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
	人件費					
小計(B)		8,852	9,056	9,056	9,076	
合計(A+B)		8,916	14,136	9,086	14,151	
市民1人当たりのコスト(円)		97	155	100	157	

指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
助成金の交付件数		件	目標	4	4	3
			実績	5	0	0
指標化できない成果		達成		0.0%	0.0%	

方向	改善	課題及び改善案	現在指定されている重点風景地区については、現状にそぐわない部分があり、その区域については精査が必要です。 また、家屋の新・改築等において景観形成基準に適合させる事は、少なからず私権を制限する事となり、それに伴い施主が私費の負担を強いられる事により、適合基準について理解を得られない場合が多い現状です。よって重点風景地区に対する助成制度について、類似他団体の状況を調査し再検討することが必要です。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	331 中心市街地の賑わいをつくる	平成 21 年度～令和 2 年度	01-08-04-02-01-03
	基本事業	② 中心市街地活性化事業		
	事務事業名	中心市街地活性化事業	担当部署	部・課名等 産業振興部中心市街地推進課
				評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	中活計画に盛り込まれた事業を展開することにより、中心市街地の賑わいを創出する。		
	内容	<p>第2期伊賀市中心市街地活性化計画の策定にむけ委員会を開催しました。</p> <p>また、「伊賀市中心市街地活性化基本計画」の進行管理に関し、基本計画に掲げる目標数値である「歩行者・自転車通行量」の現状把握のため、通行量調査業務を実施しました。(6地点・年1回 5,269人)</p> <p>①ハイピア前1,209人 ②新天地南口前1,481人 ③本町通郵便局前893人 ④まちやガーデン伊賀前438人 ⑤丸之内交差点610人 ⑥白鳳門前638人</p> <p>8月10日、11日上野公園内や周辺にある歴史的建物群をライトアップし、伊賀の歴史的施設のすばらしさを体験するためにお城のまわりライトアップイベントを実施しました。(イベント参加者18,000人)</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
		委員報酬	420,000円	6,000円×のべ70人(5回)中心市街地活性化基本計画策定委員会委員報酬
		旅費	150,114円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員旅費他
		通行量調査業務委託料	182,347円	委託先:公益社団法人シルバー人材センター
		ライトアップ実施委員会委託料	3,310,365円	委託先:ライトアップイベント実施委員会
		中心市街地活性化基本計画策定支援業務委託料	3,704,400円	委託先:株式会社都市環境研究所
		中心市街地活性化協議会活動費補助金	1,400,000円	
		その他	70,414円	
		計	9,237,640円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ふるさと応援基金	
		直接事業費	国県支出金	0	0			
			地方債	0	0			
			その他	0	3,500	2,986		3,000
			一般財源	5,133	6,425	6,252		2,398
		合計(A)	5,133	9,925	9,238	5,398		
	人件費	正規職員	業務量	1.05 人	1.90 人	1.97 人		1.60 人
			人件費	7,877	14,581	15,118		12,306
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
		小計(B)	7,877	14,581	15,118	12,306		
	合計(A+B)	13,010	24,506	24,356	17,704			
	市民1人当たりのコスト(円)	141	268	266	196			

指標	指標名	指標の説明	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	まちなか回遊者数	歩行者自転車通行者数	人	目標	/	4,450	4,525	4,200
				実績	5,003	4,055	5,269	
指標化できない成果			達成	/	91.1%	116.4%		

方向	継続	<p>課題及び改善案</p> <p>第1期伊賀市中心市街地活性化基本計画終了後、人口減少、小売店舗の減少、空家の増加などの課題が生じてきている。これらの課題に迅速及び効果的に対応するため、第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に定められた事業を実施していく。</p>
-----------	-----------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)02下水路等維持管理経費	決算書頁
338 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	232 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-03-02-01
	基本事業	② 下水道事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	下水路等維持管理経費	上下水道部経営企画課	評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-24-0001

事務事業の概要	対象	上野支所管内の既設下水路		
	目的	清掃・補修等、適正な維持管理を行う。		
	内容	<p>上野支所管内の下水路の機能維持のために清掃及び補修等を行い、また、下水路の施設把握及び管理に必要な下水道台帳整備を行いました。</p> <p>事業実績 下水路管渠等修繕工事 下水路管渠等清掃業務 下水道台帳整備業務 排水樋門操作点検業務 人孔蓋購入</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	3,344,036円	下水路・人孔蓋等修繕等	
	委託料	3,010,996円	施設維持管理業務等	
	公有財産購入費	3,402,948円	人孔鉄蓋	
	役務費	17,034円	電話代	
	補償、補填及び賠償金	250,000円	服部川沿岸用水南幹線水路浚渫及び汚泥排除補償費	
	計	10,025,014円		

項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	0	0	0	0	その他特定財源:行政財産目的外使用料
国県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	22	22	22	22	
一般財源	9,173	10,337	10,003	8,726	
合計(A)	9,195	10,359	10,025	8,748	
人件費	正規職員	業務量 0.38 人	0.38 人	0.38 人	0.38 人
	人件費	2,851	2,917	2,917	2,923
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
	人件費				
小計(B)	2,851	2,917	2,917	2,923	
合計(A+B)	12,046	13,276	12,942	11,671	
市民1人当たりのコスト(円)	131	145	142	129	

指標名	指標の説明	単位	目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				実績	達成	達成	達成
道路陥没発生件数	道路陥没発生件数	件		0	0	0	0
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	旧市街地の下水道施設(管路、MH蓋)は経年劣化による老朽化が著しいため、道路陥没等が発生しないように維持管理する必要があります。下水道施設の点検・管理を行い適切な維持管理に努めていきます。
----	----	---------	--

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)03下水路等整備事業	決算書頁
339 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	232 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-03-03-01
	基本事業	② 下水道事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市単下排水路整備事業	上下水道部経営企画課	評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-24-0001

事務事業の概要	対象	旧上野市の下排水路											
	目的	旧上野市街地及び村落部の生活雑排水を対象として下水路整備を行う。											
	内容	<p>野間地区の公共用水域の水質保全を図るため、新設管路の整備を実施した。 新たに西明寺地区において、公共水域の浸水対策を図るため管路施設の計画を行った。</p> <p>市単下排水路延長(野間・四十九町) L=3,505m</p> <p>令和元年度 実施延長 L=172m(野間地区)</p> <p>西明寺地区下排水路改修委託業務 1式</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>17,978,400円</td> <td>野間下排水路管路新設工事</td> </tr> <tr> <td>測量設計業務委託</td> <td>4,722,300円</td> <td>西明寺地区下排水路概略設計業務委託</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,700,700円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	17,978,400円	野間下排水路管路新設工事	測量設計業務委託	4,722,300円	西明寺地区下排水路概略設計業務委託	計	22,700,700円
経費	金額	摘要											
工事請負費	17,978,400円	野間下排水路管路新設工事											
測量設計業務委託	4,722,300円	西明寺地区下排水路概略設計業務委託											
計	22,700,700円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	14,300	14,500	14,500	16,100		
	その他	2,637	2,700	2,697	3,000		
	一般財源	834	5,824	5,504	900		
	合計(A)	17,771	23,024	22,701	20,000		
	人件費	正規職員	業務量 0.29 人	0.29 人	0.29 人	0.29 人	
		人件費	2,176	2,226	2,226	2,231	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,176	2,226	2,226	2,231		
	合計(A+B)	19,947	25,250	24,927	22,231		
	市民1人当たりのコスト(円)	216	276	272	246		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	管路整備率	(整備予定管路延長-残延長) / 整備予定管路延長	%	目標		81	85	93
				実績	79	81	84	
指標化できない成果			達成		100.0%	98.8%		

方向	継続	課題及び改善案	農業用排水路の水質保全、農業用排水路施設の機能維持と公共用水域の水質保全を目的としていることより、下排水路工事の早期完成に努める。
----	----	---------	---

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)03下水路等整備事業	決算書頁
340 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	232 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	平成 30 年度～令和 元 年度	01-08-04-03-03-02
	基本事業	② 下水道事業	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市単下排水路管渠老朽化対策事業	上下水道部経営企画課	評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-24-2136

事務事業の概要	対象	岩倉地区の下排水路		
	目的	岩倉地内の老朽化した下排水路施設について計画的に調査及び修繕を図る		
	内容	<p>岩倉地内の下排水路施設において老朽化が認められ、汚水の漏水や老朽化管路破損による道路の陥没等の被害が懸念されることから修繕のための修繕工事を実施しました。</p> <p>岩倉地区</p> <p>岩倉下排水路排水路修繕(管渠更生)工事 L= 153 m</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	33,303,600円	岩倉下排水路修繕工事	
	計	33,303,600円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	23,000	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	5,141	45,945	10,304	5,493		
		合計(A)	5,141	45,945	33,304	5,493		
	人件費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人		0.05 人
			人件費	376	384	384		385
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
		小計(B)	376	384	384	385		
合計(A+B)	5,517	46,329	33,688	5,878				
市民1人当たりのコスト(円)			60	506	368	65		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	管路修繕率	修繕管路延長/整備予定管路延長	%	目標		0	153	0
				実績		0	153	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	地元調整や関係各所との協議を確実にし、修繕工事を円滑に進め、老朽化管路が原因となる漏水や老朽化管路破損による道路の陥没等の被害を防止します。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	721 健全な財政運営	平成 29 年度～令和 2 年度	01-08-04-03-04-01
	基本事業	① 持続可能な行財政運営の推進	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	公共下水道事業	担当部署 財務部財政課	課長 風隼 徳彰 0595-22-9608

事務事業の概要	対象	公共下水道事業		
	目的	公共下水道事業の経営健全化を図る。		
	内容	<p>下水道事業会計公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業において、各事業の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費については使用料で賄うこととし、一般会計から次のとおり補助しました。</p> <p>【公共下水道事業補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息)・下水道料金検討業務に要する経費 ・新都市浄化センターに要する経費 <p>【特定環境保全公共下水道事業補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息) ・下水道事業人件費に要する経費・下水道料金検討業務に要する経費 <p>【公共下水道事業負担金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業人件費に要する経費・雨水処理施設維持管理経費に要する経費 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	6,729,897円 479,803,446円 8,110,436円	公共下水道事業補助 特定環境保全公共下水道事業補助 公共下水道事業負担金	
	計	494,643,779円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・総務省の通知に基づく繰出金(補助・負担金)については、地方交付税等において考慮するものとされています。	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
			地方債	0	0	0		0
			その他	0	0	0		0
			一般財源	547,429	493,503	494,644		488,892
		合計(A)	547,429	493,503	494,644	488,892		
	人件費	正規職員	人	人	人	人		
		業務量						
		人件費	0	0	0	0		
		臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人		
	業務量							
	人件費							
	小計(B)	0	0	0	0			
	合計(A+B)	547,429	493,503	494,644	488,892			
	市民1人当たりのコスト(円)	5,921	5,383	5,396	5,398			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	-	課題及び改善案
----	---	---------

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)04都市下水路費(大事業)01都市下水路 維持管理経費	決算書頁
342 -		281

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	232 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-04-01-01
	基本事業	② 下水道事業	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	緑ヶ丘都市下水路浄化施設維持管理経費	担当 部署	上下水道部経営企画 課	課長 中西 一樹 0595-24-0001

事務事業の概要	対象	緑ヶ丘都市下水路浄化施設		
	目的	機能維持のための管理と周辺環境の保全を行う。		
	内容	<p>伊賀市緑ヶ丘地内の家庭並びに工場等の雑排水が一級河川久米川に流入し、水質汚濁を招いていたため、昭和59年に「都市下水路雑排水対策モデル事業」として本施設が建設された。公共用水域の水質保全のため緑ヶ丘下水路浄化施設の適切な維持管理を行いました。</p> <p>集水面積 84.5ha 計画対象人口 4,000人</p> <p>事業実績 施設維持管理 1式 施設修繕工事 1式</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,064,653円	光熱水費	
	委託料	5,587,473円	施設維持管理業務 等	
	工事請負費	1,706,400円	施設修繕工事	
	計	9,358,526円		

全体コスト(千円)	項目	H30年度決算		R1年度当初予算		R1年度決算		R2年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
事業費	直接事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,937	11,038	9,359	9,961	9,359	9,961	9,359	9,961	
	合計(A)	7,937	11,038	9,359	9,961	9,359	9,961	9,359	9,961	
人件費	正規職員	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人	
	業務量	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
	人件費	901	921	921	923	921	923	921	923	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人	人	人	人	人	
	業務量									
人件費										
	小計(B)	901	921	921	923	921	923	921	923	
	合計(A+B)	8,838	11,959	10,280	10,884	10,280	10,884	10,280	10,884	
	市民1人当たりのコスト(円)	96	131	113	121	113	121	113	121	

指標	指標名	指標の説明	単位	年度			
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	自主設定基準の水質検査合格率	自主基準合格回数/検査回数	%	目標	100	100	100
				実績	100	100	100
	指標化できない成果		達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	本施設は築後32年を経過しており、処理施設の老朽化が進んでいる。適切に施設の維持管理をしていくとともに老朽化対策についても検討をしていく。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	411 適正な土地利用によりまちの魅力を高める	平成 16 年度～令和 2 年度	01-08-04-05-01-01
	基本事業	② 都市施設整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	公園施設維持管理経費	建設部都市計画課	課長 辻村 武臣 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	都市公園施設		
	目的	都市公園施設を安全で安心して利用できるよう維持管理を行う。		
	内容	都市公園施設の維持管理業務(施設整備保守、清掃業務、施設補修工事、岩倉峡公園キャンプ場指定管理)を実施しました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		施設設備保守点検委託料	5,896,894円	浄化槽保守点検、清掃等 委託先:(有)白鳳清掃ほか
		施設維持管理委託料	51,715,797円	都市公園清掃等業務、樹木管理業務等 委託先:(公社)伊賀市シルバー人材センターほか
		草刈業務委託料	20,557,720円	上野公園他草刈、抜根除草
		消耗品費	688,994円	公園管理用消耗品等
		光熱水費	5,925,360円	公園電気・水道使用料
		修繕料	3,018,082円	公園トイレ修繕等
		施設補修工事費	1,299,990円	公園園路補修工事等
		その他維持管理経費	1,720,288円	<small>作業員食料、医薬、燃料費、手取料、土地建物上料、物品品上料、貸付費、研習会等参加費ほか</small>
		計	90,823,125円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	5,227	4,598	4,511	4,273		
	一般財源	84,796	92,667	86,312	92,267		
	合計(A)	90,023	97,265	90,823	96,540		
	人件費	正規職員	業務量 1.69 人	1.59 人	1.59 人	1.76 人	
		人件費	12,677	12,202	12,202	13,537	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	12,677	12,202	12,202	13,537	
		合計(A+B)	102,700	109,467	103,025	110,077	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,111	1,194	1,124	1,216	

指標	指標名	指標の説明	単位	延べ日数	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					目標			
	都市公園施設の清掃作業日数				1,378	1,529	1,259	
	指標化できない成果			達成		117.7%	96.8%	

方向	継続	課題及び改善案	老朽化した施設も多くあるため、補助事業を組み合わせ限られた予算内で都市公園施設の維持管理を効率的、効果的に行う必要があります。

整理番号 344 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)05公園費(大事業)01公園施設維持管理 経費	決算書頁 281
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	411 適正な土地利用によりまちの魅力を高める	平成 16 年度~令和 2 年度	01-08-04-05-01-02
	基本事業	② 都市施設整備	担当 部署	部・課名等 伊賀支所振興課
事務事業名	新堂駅周辺施設公園管理費		評価責任者・連絡先 課長 前川 一幸 0595-45-9111	

事務事業の概要	対象	JR新堂駅前公園		
	目的	JR新堂駅前公園を維持管理する。		
	内容	<p>JR新堂駅前公園のトイレ及び公園・駐車場の清掃と、公園内の芝生管理及び樹木の剪定について、委託を行いました。 また、公園内の時計と、凍結によるトイレ漏水等の修繕を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前公園トイレ清掃委託 ・駅前公園清掃等委託 ・駅前公園芝生管理等委託 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,794,000円	駅前公園トイレ清掃委託料 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会) 駅前公園芝生管理等委託料 (委託先: 瑞祥園)	
	その他事務経費	241,771円	維持管理に係る需用費 (消耗品費、光熱水費、修繕料等)	
	計	2,035,771円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	H30年度決算	R1年度当初予算	R1年度決算	R2年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0			
		その他	0	0			
		一般財源	1,984	2,108	2,036	2,056	
		合計(A)	1,984	2,108	2,036	2,056	
	人件費	正規職員	0.16 人	0.16 人	0.15 人	0.16 人	
		業務量					
		人件費	1,201	1,228	1,152	1,231	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人	人	人	人	
		業務量					
		人件費					
		小計(B)	1,201	1,228	1,152	1,231	
		合計(A+B)	3,185	3,336	3,188	3,287	
		市民1人当たりのコスト(円)	35	37	35	37	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標			730
	公園及びトイレの清掃等作業日数		延べ回数	実績	730	730	730
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	老朽化した設備もあるため、他の事業も活用するなど、限られた予算内で公園の維持管理を効率的、効果的に行う必要があります。
----	----	---------	---